



LCD一体型DVR

取扱説明書



Revised Date	Revised Date	Revised Date	Revised Date
2005.07.12	2006.01.20		

• INDEX

■ 次例	1 ~ 3
■ 製品の取扱時注意事項	4 ~ 10
■ CHAPTER 1 - 製品仕様及び構成図	
1.1 製品仕様	11
1.2 アクセサリ	12
1.3 構成図	13
■ CHAPTER 2 - パネル各部の名称と機能	
2.1 フロントパネル	14
2.2 リアパネル	15
2.3 リモコン	16
■ CHAPTER 3 - 製品設置	
3.1 カメラ連結	17
3.2 モニター連結	17
3.3 ネットワーク連結	17
3.4 アラーム/リレー/PTZ連結	18
3.5 電源連結	18
■ CHAPTER 4 - モニタリング	
4.1 システム電源ON	19
4.2 映像画面選択	19
4.3 画面転換モード	20
4.4 PTZ / FOCUSコントロール	20
4.4.1 PTZ / コントロール	21
4.4.2 FOCUS / IRISコントロール	21
4.4.3 PRESETコントロール	21
4.4.4 SWINGコントロール	22
4.5 システム電源OFF	23
■ CHAPTER 5 検索	
◎ 検索モード	24
5.1 日時で検索	24
5.2 イベントで検索	25

• INDEX

■ CHAPTER 6 - 設定

◎ 設定モード	26
◎ 設定モード初期画面	26
6.1 画面設定	27
6.2 録画設定	27
6.2.1 サイズ/録画比率/画質	27
6.2.2 予約録画設定	28
6.2.3 動体検知設定	29
6.2.4 アラーム録画設定	29
◎ 予約録画週間設定	30
◎ 動体部分領域設定方法	31
6.3 カメラ	32
6.3.1 ステータス/タイトル設定	32
6.3.2 転換/PTZ設定	32
6.3.3 カラー設定	33
6.4 オーディオ設定	33
6.4.1 オーディオ録音設定	33
6.4.2 ライブオーディオ設定	34
6.5 アラーム設定	34
6.5.1 アラーム入力設定	34
6.5.2 リレー出力設定	35
6.6 システム設定	35
6.6.1 日付/時間設定	35
6.6.2 ネットワーク設定	36
6.6.3 ブザー設定	38
6.6.4 パスワード設定	38
6.6.4.1 管理者パスワード	38
6.6.4.2 マネージャーパスワード	39
6.6.4.3 オペレーターパスワード	39
6.6.5 ハードディスク書入れモード	40
6.6.6 システム情報	40
6.6.7 出荷時設定	40

• INDEX

■ CHAPTER 7 - リモートクライアント

◎ システム要求事項	42
◎ リモートクライアント設置	42

7.1 モニターリング

7.1.1 機能説明	45
7.1.2 画面モード転換	46
7.1.3 PTZ調整	46
7.1.4 DVRシステム選択	46
7.1.5 AVIファイル保存	47
7.1.6 カラー調整	47

7.2. 検索

7.2.1 機能説明	48
7.2.2 検索方法	49
7.2.3 検索設定	50

7.3. 設定

7.3.1 接続ID設定	55
7.3.2 オプション設定	56
7.3.3 DVRシステム設定	56

■ CHAPTER 8 - ウェブクライアント

59



・製品の取扱時注意事項



本ページはTFT LCD、インバーター、ハードディスクの取扱及び管理上の注意事項に対して記述しております。

下記の内容はTFT LCDを取り扱う時、必ず必要な事項です。
TFT LCDはかなり敏感で利用する人の不注意のために故障しやすいです。
ケースを開ける前、下記の開封、造作、組立、保管方法などを熟知して下さい。

温度 / 湿度

最適の状態を維持するため温度と湿度が適当な空間で製品を御使い下さい。



1. 高い温度と湿度にて使う時、製品の寿命が短くなるはずです。



2. 10℃以下の低い温度にて使う時、応答速度と明るさに影響を与えて最適の画面が見えないはずです。



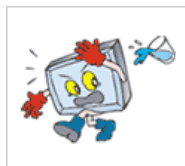
3. 急激な温度の変化が発生した時は製品に影響を与えるはずです。
特に低い温度から高い温度への急激な変化は表面に霜が発生して製品駆動時、影響を与えるはずです。

使用環境

ほこりや湿気から影響されないよう、きれいな場所で御使い下さい。



1. ほこりの多い場所で使うと製品内の故障要因の電氣的な衝撃を起こるはずです。



2. 製品が水気に濡れていると偏光板が変色されるはずです。
水気が入った時、故障及び腐食の原因となるはずです。



• 製品の取扱時注意事項



取扱方法

LCDはガラスが入っているため、使う時ご注意ください。衝撃や振動、不注意な取扱は製品に深刻な影響を与えるはずでご注意ください。



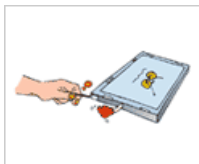
1. LCDの表面は傷つきやすいソフトフィルムで覆っているため鋭い物質によって傷付きやすいです。



2. LCDはガラスが入っているため、曲げる時、傷つきます。
高い場所から落としたり、強い衝撃があった時、ガラスが壊されるはずで



3. 組み立てる時、柔らかい手袋を使って製品を取り扱ってください。
LCDの表面が傷つきやすいソフトフィルムで覆っているため鋭い物質によって傷付きやすいです。



4. Back Light線を曲げたり、引っ張ったりしないで下さい。



5. 製品の表面を洗滌する時はIPA (Isopropyl Alcohol)やHexaneを使って拭いてください。Ketoneタイプの物質(Acetone)やEthyl、Methyl Chlorideは偏光板に深刻な影響を与えるはずで必ず使わないで下さい。



• 製品の取扱時注意事項



使用法

LCD製品は敏感な電子装置のため、下記の注意事項をご参考下さい。



1. 如何しても状況でLCD製品を分解しないで下さい。
アマチュアが製品の分解後、再組立の時、作動されないはずです。



2. 使わない間には、スクリンの電源を消したり、画面保護機を動作させてください。
続いて同じバターのイメージが表示される時、LCD構造上の明るさの低下と残像が発生するはずです。



3. 製品は元はケースに入れて涼しく、乾燥な場所に保管して下さい。



4. 製品の廃棄時、関連法規及び原則に従って処理して下さい。
LCDのランプに少量の水銀が含まれています。



• 製品の取扱時注意事項

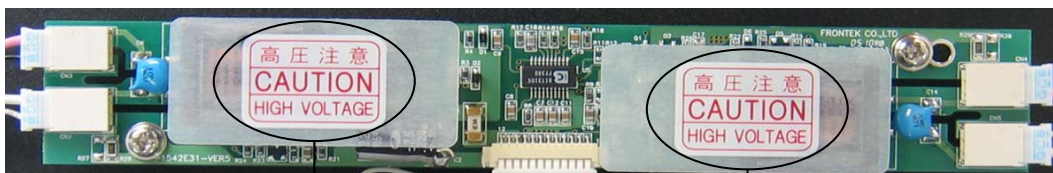


下記の内容はインバーターを取り扱う時、注意事項に対して記述しております。
LCDパネルに必要な電源を供給するインバーターは多少高電圧を発生します。

従って、裏面部のカーバーを開閉したり、交換組立時、他の取扱時、注意が必要で、さらに、隣接しているハードディスクの交換の時にも手や他の伝導性金属物体を使っては駄目です。

下記の絵の通り、裏面のカーバーを開けるとインバーター部品を見ることができます。

インバーターを取り扱う時、機械的な衝撃や圧力、振動などは当該部品を壊させるはずで、さらに、ハードディスク交換などの付随的な作業時、手の接触、圧迫などを避けてください。





CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT TOUCH INVERTER



CAUTION
電気的な衝撃の危険などを未然に防ぐため、できるだけハードディスクの交換の外、裏面のカーバーを開けないで下さい。
当該分野に慣れているサービスセンターなどをご利用下さい。



• 製品の取扱時注意事項



下記の内容はハードディスクの取扱、交換などの作業時、注意事項に関する説明です。
ハードディスクの上面にある素子はなかなか敏感なので、不注意な取扱によって壊される可能性がたくさんあります。特にハードディスクは衝撃や振動に弱いので分解、組立、交換などの取扱時、格別な注意が必要です。

ハードディスクのUDMAケーブル、パワーケーブルなどの脱着時、現れているPCB部分に手の接触や、金属などの伝導性物体が触れたり、衝撃を与えないで下さい。

ハードディスクを取り扱う時、機械的な衝撃や、圧力、振動などは当該部品を壊されるはずです。



ハードディスクの組立図



• 製品の取扱時注意事項

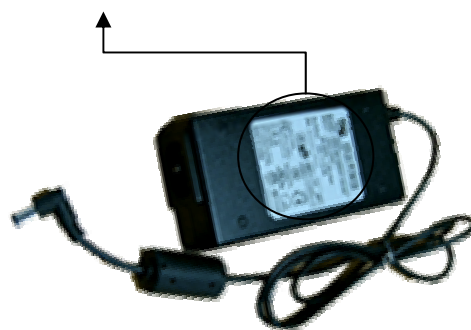


下記の内容はパワーアダプターの取扱、交換などの作業時、注意事項に対して記述しております。

1. LCD一体型DVRは100 ~ 240V - 50/60Hz AC入力と12V-5.0Aの出力のあるパワーアダプターによってシステムが駆動されます。
システムを駆動する前にパワーアダプターが要求事項に合っているかどうかをご確認下さい。放送ケースに入っているパワーアダプターをご利用下さい。

交換が必要であれば、交換製品が製造社の同一製品であったり、純正品と同じ特性のある製品をご利用下さい。
不適合なパワーアダプターの利用は火災、回路の正常作動を防ぎ、その他意外の状況が発生するはずでは
ありません。
2. パワーケーブルを激しく曲げたり、被覆が壊れないようご注意ください。
壊れた電源線は電氣的な漏電や火災の原因となります。
3. LCD一体型DVRシステムを長時間使わなければ電源線を抜いてください。
4. 電源線に伝導性の物体や、水気のある手で触らないで下さい。
電氣的な衝撃や、火災の原因となります。
5. 雷の時、電源プラグを触らないで下さい。
電氣的な衝撃や、火災の原因となります。

製造会社のアダプター仕様書



DC12V パワーアダプター



• 製品の取扱時注意事項



下記の内容はLCD一体型DVRの利用時、必要な一般的な事項に関する説明です。

部品の交換が必要であれば、製造会社で提示した部品や同じ特性のある製品でサービス技術者が交換するようにします。

承認されていない部品などの代替及び交換は火災、電氣的な衝撃、他の誤作動の原因となります。

1. システムに異常が発生すれば、すぐ電源コードを抜いてください。

システムから煙、おかしい音、匂いなどがすれば作動しないで下さい。
火災や、回路壊れなどの原因となり、このような状況が発生すれば、すぐ電源コードを抜いて、ディーラーやサービスセンターの方にお問い合わせください。

2. サービス案内

ユーザーマニュアルに特に記述した事項以外、一人で製品を修理したり、触らないで下さい。
LCD一体型DVRシステムの修理、調整、検査などが必要であればディーラーやサービスセンターの方にお問い合わせください。

3. 坂の場所や不安定な場所にシステムを置かないで下さい。

LCD DVRシステムは平坦で安定な場所に設置して下さい。

4. 特別な場合のほか、電源を順序によって消さなかったり、作動中に電源プラグを抜かないで下さい。

正常的な順序によって電源を認可して、消すほうが一番いいです。

Tip

• Firmwareやリモートクライアントソフトウェアプログラム、そしてマニュアルなどは急に変更されたり、バージョンアップされるはずです。

• Chapter 1 - 製品仕様及び構成図

1.1 製品仕様

LCD パネル	解像度	1,024 x RGB x 768
	輝度[cd/m ²]	450
	カラー彩度(%)	60
	コントラスト	600:1
	ビューイングアングル [°,U/D/L/R]	100/130(CR≥10)
	応答速度[ms]	16
CPU		32bit DSP
HDD		80GB
OS		RTOS
ビデオ入力		Composite Video RJ45 x 4又はBNC x 4 (NTSC/PAL)
ビデオ出力		Composite Video (BNC x 1)
オーディオ入力		カメラ 4入力
スピーカー		モノ 1W
アラーム /リレー		4 入力 / 1出力
PTZ コントロールとポート		RS-485
LAN		10/100BASE- TX Ethernet
システムオペレーション		ボタン又はIRリモコン
画面 モード		1/4 チャンネルモード
録画i速度	352 × 240	120/100
	704 × 240	60/50
	704 × 480	30/25
録画i解像度		NTSC : 352 × 240, 704 × 240, 704 × 480 PAL : 352 × 288, 704 × 288, 704 × 576
映像圧縮方式		MPEG4 (修正)
イメージ当りバイトサイズ		3~5Kbyte @352 × 240 (PAL :352 × 288) 5~10Kbyte @704 × 240 (PAL : 704 × 288) 6~16Kbyte @704 × 480 (PAL : 704 × 576)
録画iモード		完全動画、動体検知、センサー活性化
録画iスケジュール		カメラ別録画スケジュール設定
動体検知		カメラ別録画検知設定可能
リモート転送		リモートライブモニタリング、リモート再生、リモートファイルバックアップ
リモートコン		リモートPTZ/Focus/Iris
停電時システム復旧		自動リスタート, 自動データ復旧
周辺温度及び湿度		-20~65°C / 20~95%RH
操作温度及び湿度		5~40°C/ 20~80%RH
電源		DC12V, 5A (アダプター提供)
外形寸法		350(w) × 315(H) × 65(D)mm (スタンド別途)
質量		8.5kg

• 製品仕様及び構成図

1.2 アクセサリ

ボックスを開けた時アクセサリを確認してください。



DC12Vアダプター



電源ケーブル



RJ45-BNC Converter X 4



リモートコントローラ



AAA Battery X 2

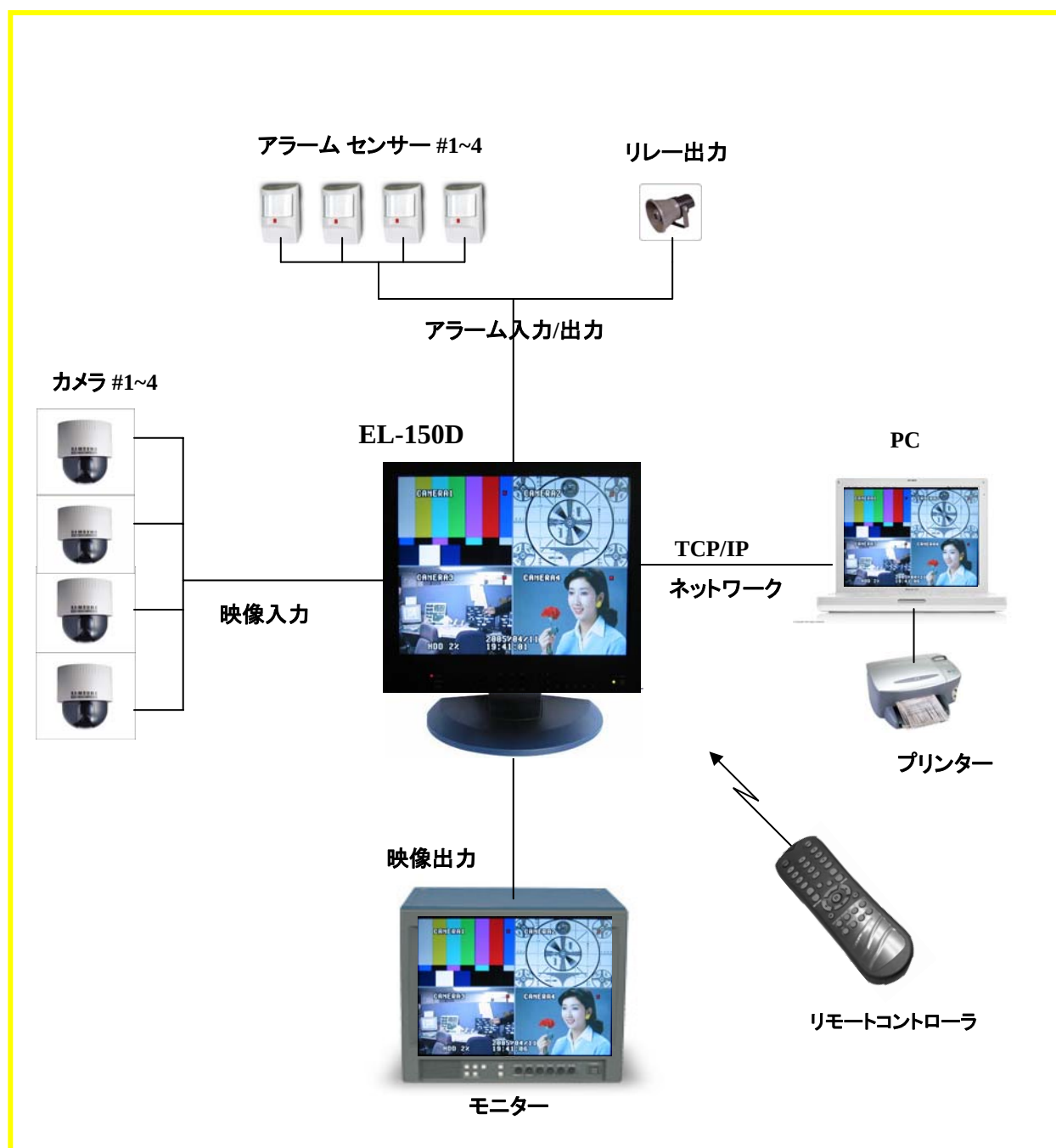


Remote 設置CD



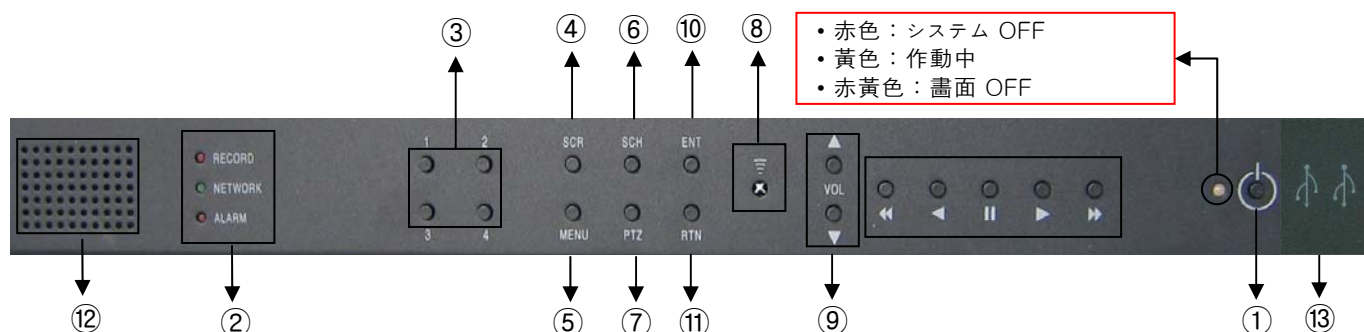
・製品仕様及び構成図

1.3 構成図



• Chapter 2 – パネル各部の名称と機能

2.1 フロントパネル



① 電源：システム電源 On/Off.

② LEDインジケーター：システムの現在状態を表示します。

- 電源：システム On/Off
- 録画：録画 On/Off
- ネットワーク：クライアントネットワーク連結On/Off
- アラーム：アラーム センサーOn/Off

③ カメラ選択ボタン：カメラを選択したりパスワードを入力します。

④ SCRモード：分割モード及びローテーションモードを設定します。

⑤ メニュー：システム メニューに入ります。

⑥ 検索：保存された映像を検索します。

⑦ PTZ/FOCUS：カメラPTZ/Focusを調節します。

⑧ リモコンセンサー

⑨ 検索コントロール及びVolumeコントロール:

保存された画面検索時画面を調整しメニュー、PTZ/Focus、Volumeを調整します。

⑩ ENTER： 設定入力後適用時使用

⑪ RETURN： 各々の設定取消及び元のモードに戻る時使用

⑫ Speaker

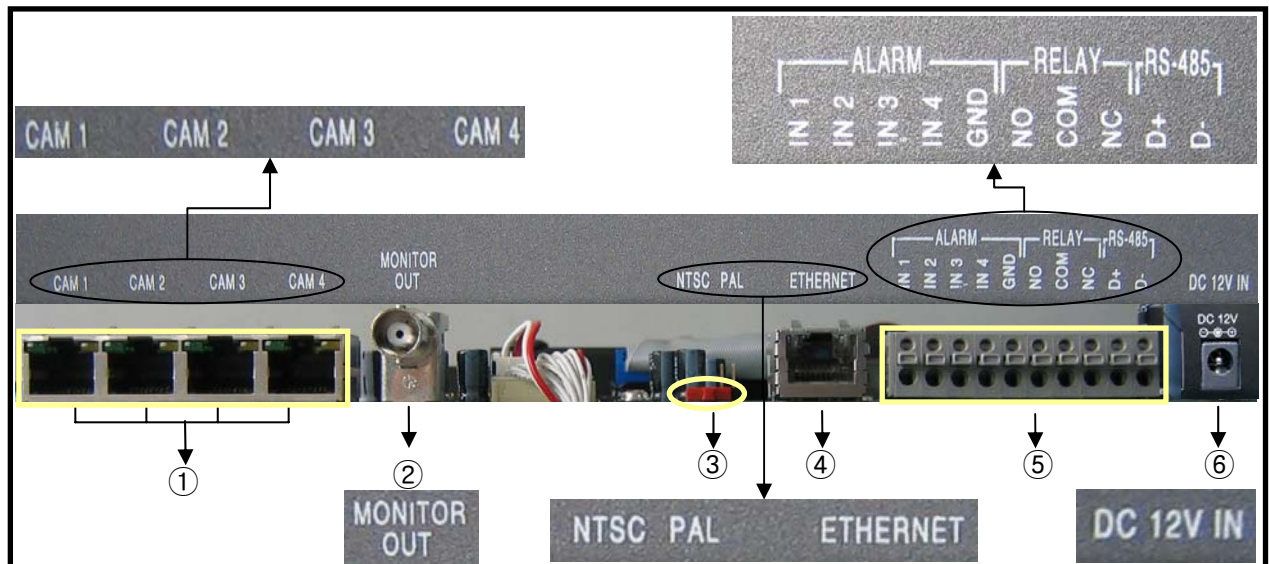
⑬ USB Symbol

Tip

- チャンネル選択ボタンはSCRモードボタンより優先します。
- リモコンセンサーが他の物体により遮られている場合リモコンが旨く動作されない場合があります。
- 各々のボタンを押した時ボタン音がします。

・パネル各部の名称と機能

2.2 リアパネル



- ① 映像入力：4カメラ連結
- ② モニター出力：AVモニターと連結時映像を出力します。
- ③ Select Switch：Selectable NTSC or PAL
- ④ Ethernet (TCP/IP)：LANケーブルと連結されるポートです。
(ネットワークを利用して映像を見れます。)
- ⑤ アラーム/リレー/RS-485：センサー及びリレー、PTZを連結するポートです。
- ⑥ DC電源入力端子

Tip

- ・システム装置連結時、システムOff状態で連結して下さい。
- ・指定されたアダプターを使用して下さい。
- ・ They shall be used indoor which are Ethernet port, RJ45 port, Alarm, Relay and RS485 terminal

・パネル各部の名称と機能

2.3 リモコン



- ・上のボタンの中で機能定義されていないボタンは使用されていないボタンです。
- ・各ボタンは製品前面パネルに準じて全ての機能を遂行します。
- ・リモコン動作は製品前面のリモコンセンサー受信部と連結動作され、製品が多数ある時は同時動作します。

• Chapter 3 – 製品設置

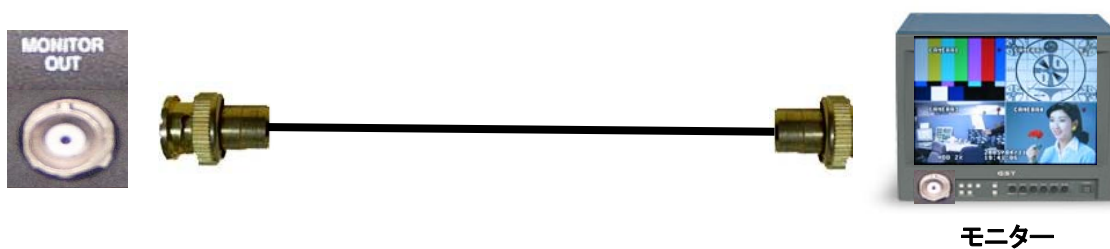
3.1 カメラ連結

製品の裏面のMulti-Jack Modularポートにカメラを連結します。



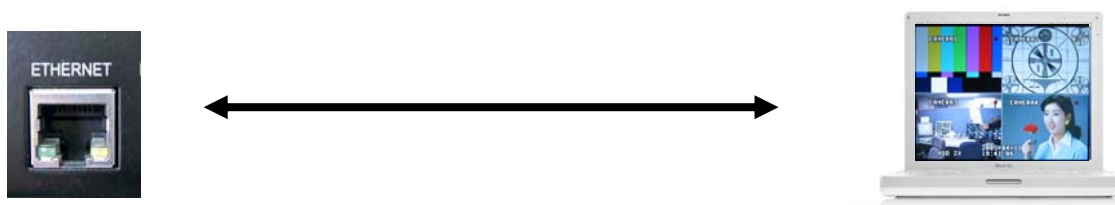
3.2 モニター 連結

製品裏面にあるモニター端子にAVモニターを連結します。



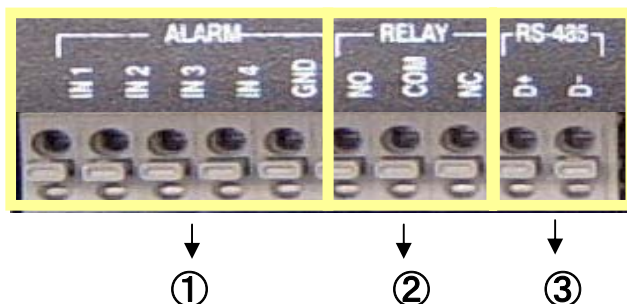
3.3 ネットワーク連結

製品裏面にEthernet端子とネットワークケーブルを連結します。



• 製品設置

3.4 アラーム、リレー、PTZ連結



① アラーム

アラーム入力端子 (“IN1, IN2, IN3, IN4”, GND)

センサー入力をチャンネル別に連結します。“GND”の片方接地部分を連結します。

② リレー

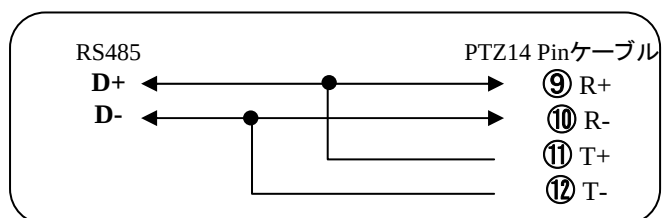
アラーム出力端子 (“NO, NC, COM”)

アラーム出力のNormal Open及びNormal Closeタイプを確認した後NO, NCに連結します。

“COM”：残り接地する線を連結します。

③ RS-485

PTZカメラ連結 (“D+, D-”) : PTZカメラ制御線のD+端子とD-端子を連結します。



3.5 電源連結

DC電源入力端子に指定されたアダプターを連結します。



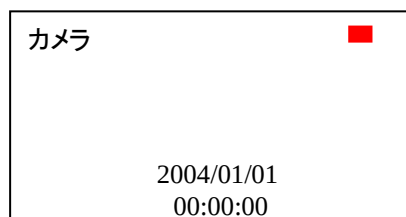
DC12Vアダプター

• Chapter 4 – モニタリング

4.1 システム電源ON



- システムを動作させるために電源 ボタンを押して下さい。
- ハードディスク確認後ログイン画面にパスワード入力後正常的な作動をします。
- 初期パスワードは1234です。
- 初期画面は4分割画面で見せ、録画状態で始まります。



- モニター各映像左側上段にはカメラの名前が表示されるし、各分割画面右側上段には録画状態が表示されます。
- モニター中央下段には現在の日付及び時間が表示されます。

Tip

- 製品状態LED画面でシステムの状態を確認できます。

電源：システムのOn/Off状態を見せます。

録画：現在録画状態を見せます。

ネットワーク：クライアントの接続状態を見せます。

アラーム：センサー アラームが発生すれば点灯します。

4.2 映像画面選択



- 4つの画面の中で欲しい画面を選択できます。
- 4チャンネルの中で一つを選ぶとクローズアップされ全体画面になります。
- ローテーションモードではローテーションが終了され一つの画面だけ見せます。

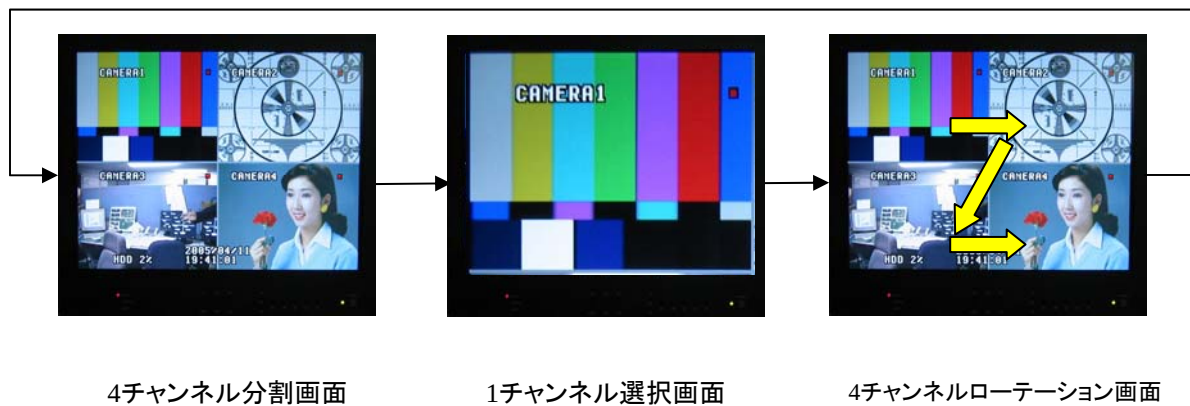
・モニタリング

4.3 画面モード転換(SCR モード)

SCR



- ・ユーザーは3つのモードで画面を選択できます。
 - ①4チャンネル分割画面
 - ②1チャンネル選択画面
 - ③4チャンネルローテーション画面
- ・システムが動作し始めた後初期モードは4チャンネル分割画面モードで実行します。



4.4 PTZ / FOCUS コントロール

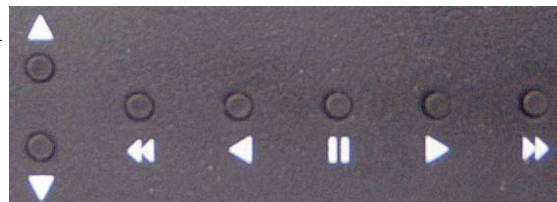
- ・カメラのPTZ(Pan/Tilt/Zoom)とFocusをシステムで調整できます。(但し、支援されるカメラ装着時)
- ・PTZ/FOCUSボタンを押すと画面右側下段にPTZメニューが出て、検索コントロールボタンで調整できます。
- ・PTZ/FOCUSボタンを順次に押せば画面右側下段にFOCUS/IRIS、PRESET、SWINGメニューが出て、検索コントロールボタンで調整できます。



PTZ

FASTER

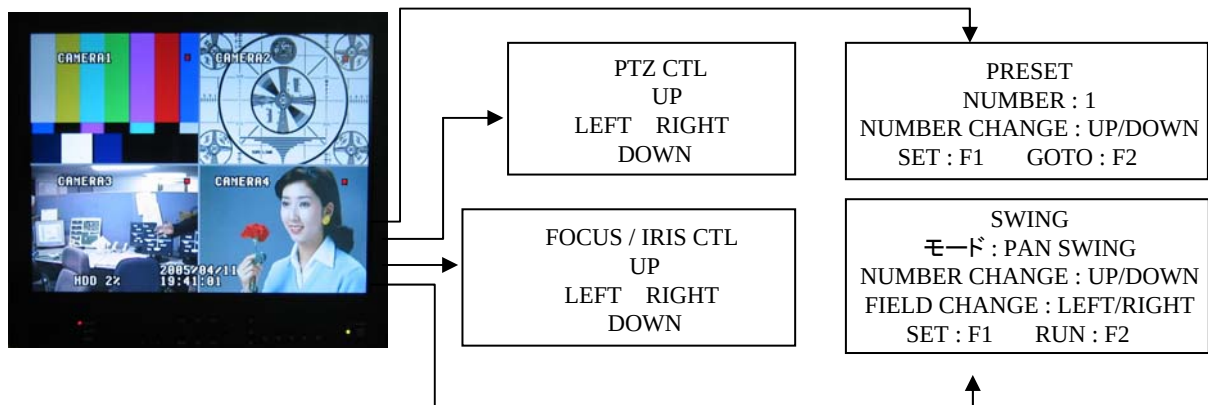
SLOWER



早戻り 逆再生 一時停止 再生 早送り

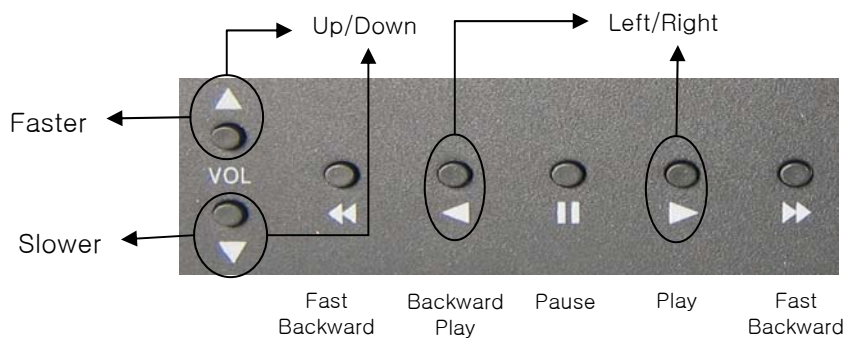
PTZ/FOCUS方向ボタン

•モニタリング



4.4.1 PTZ コントロール

- ① “FASTER”, “SLOWER”, “逆再生”, “再生” ボタンでカメラを上下左右に制御します。
- ② “早戻り”, “早送り” ボタンでズームイン、ズームアウトします。
- ③ ボタンを続けて押せば連続動作をします。



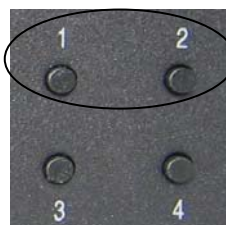
4.4.2 FOCUS / IRISコントロール

- ① “FASTER”, “SLOWER” ボタンでIRISを制御します。
- ② “逆再生”, “再生” ボタンでFocusを合わせます。
- ③ “早戻り”, “早送り” ボタンでズームイン、ズームアウトします。
- ④ ボタンを続けて押せば連続動作をします。

・モニタリング

4.4.3 PRESETコントロール

PRESET
NUMBER : 1
NUMBER CHANGE : UP/DOWN
SET : F1 GOTO : F2

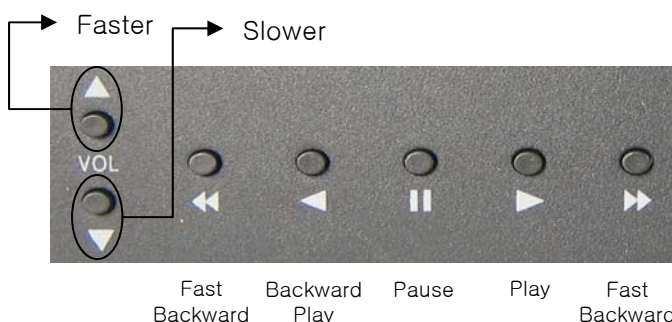


Key No.1 and No. 2

- ① PRESET機能でPTZカメラの方向及びFocusを記憶して位置を探して行きます。
- ② PTZ制御モードで位置を合わせた後PRESETモードに戻り記憶させます。
- ③ 記憶する“NUMBER”を1から128まで“Faster”と“Slower”ボタンで指定します。
- ④ 製品の1ボタンやF1ボタンで保存します。
- ⑤ 保存された位置に行くために製品の2ボタンやリモコンのF2ボタンを押します。

4.4.4 SWINGコントロール

SWING
モード : PAN SWING
NUMBER CHANGE: UP/DOWN
FIELD CHANGE: LEFT/RIGHT
SET:F1 RUN:F2



- ① SWING機能はPresetで保存された各番号を指定してPAN或いはTiltでSWINGします。
- ② モード変更は逆再生、再生ボタンで変更します。設定変更はFASTER, SLOWERボタンで変更します。
- ③ PAN SWING モード : 左右に回転します。
TILT SWING モード : 上下に回転します。
START PRESET : スターティング位置を指定します。(1~128)
END PRESET : エンディング位置を指定します。(1~128)
SWING TIME : 各位置で泊まる時間を指定します。(1~64秒)
SWING SPEED : 動くカメラの速度を指定します。(1~64)
- ④ 製品の1ボタンやリモコンのF1ボタンで保存します。
- ⑤ SWINGモードをスタートするためには製品の2ボタンやリモコンのF2ボタンを押します。

Tip

・各機能は特定プロトコルを支援するカメラでのみ動作します。

・モニタリング

4.5 システム電源OFF



- ・システムを終了するためには電源ボタンを押します。
- ・パスワード入力後Enterを押せば終了されます。

Tip

- ・システムに接続できるIDは“管理者”、“マネージャー”、“オペレーター”です。
 1. 管理者：システムスタート、終了、設定、検索等全ての機能を遂行できます。
 2. マネージャー：システムスタート及び検索ができます。
 3. オペレーター：システムスタートができます。

• Chapter 5 - 検索

○ 検索モード



SCH



- 検索ボタンを押した後管理者或いはマネージャーでログインします。



- 各メニューへの移動は上下左右方向キーを利用します。

ENT



- 各メニューに入るためにはEnterボタンを押します。



RTN

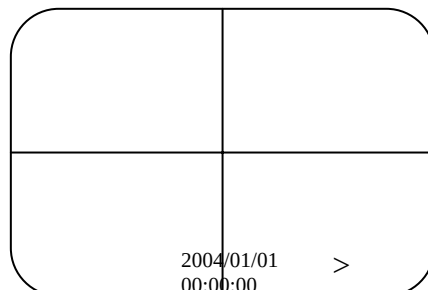
- 前の段階に戻ります。
(前のメニューに戻ったり検索モードを終了しモニタリングモードに戻ります。)

5.1 日時で検索



- ① カレンダーから見たい日にカーソルを移動します。
(録画された日時は灰色に表示されます。)
- ② Enterを押します。
- ③ その日に録画された内容が時間別に表示されます。
- ④ 時間を選んでEnterを押します。
(各欄の単位は15分です)
- ⑤ メニュー画面が見えなくなり保存された映像が出力されます。

- モニタリングモードと一緒に保存された日付と時間が表示され右下段には再生状態が表示されます。
- モニタリングでのチャンネル選択ボタンとSCRモードボタンも検索モードで同一に適用されます。
(但し、メニュー、検索、PTZ/Focusボタンは適用されない)



・検索

・再生される映像の制御

- ①  : 画面再生基本モードで1倍速正方向再生
- ②  : 画面を1倍速で逆方向再生
- ③  : 画面を一時停止
- ④  : 早送り(2 ~ 64倍速)
- ⑤  : 早戻り(2 ~ 64倍速)



Direction Keys of Front

※ 一時停止状態で倍速ボタンを押せば方向により次/以前フレームに移動します。

5.2 イベントで検索



- 開始時間と終了時間を選択し期間を決めます。
- 設定した値でイベントリストを下の出力画面に出力します。
- アラーム：アラームが発生されたイベントを決めた期間内から呼んでます。
- 動体：動体が感知されたイベントを期間内から呼んでます。
- タイマー：録画設定変更等スケジュール変更したイベントを呼んでます。
- システム：システムで起きる電源 On/Off等のユーザーが取ったイベントを呼んでます。



- 日付：イベントが発生した順序と日付を表示します。
- 時間：イベントが発生した時間を表示します。
- イベント：発生されたイベント内容とカメラチャンネルを表示します。
- イベント検索方法
 - ① 上下方向キーを利用してイベントを検索できます。
 - ② 選択したイベントでEnterボタンを押せば該当するイベントが発生した時間から検索できます。

Tip

- アラーム、動体、システムはVチェック(Enterボタン)で重複選択可能です。
- 各設定の値を調整するためには項目にEnterボタンを押した後上下方向キーで値調整をします。設定が終わった後又Enterボタンを押します。
- イベントで検索はイベントが発生した映像を基準に見せるのではなくイベントが発生した時間を基準に続けて見せます。

• Chapter 6 – 設定

◦ 設定モード



- ① モニタリングモードでメニュー ボタンを押します。
- ② パスワードを問う画面が出ます。
- ③ チャンネル選択 ボタン[1][2][3][4]を利用してパスワードを入力します。
- ④ 入力後Enterボタンを押すとメニュー初期画面が出ます。

Tip

- 初期設定の管理者、マネージャー、オペレーターのパスワードは1234です。
- パスワードの入力欄の数字は(*)で表示されます。
- パスワードの変更はメニュー→6.システム→4.パスワードで変更できます。
- 設定モードはモニタリングモードでのみ活性化されます。
(検索モード及びPTZ/Focusモードでは使用出来ません。)

◦ 設定モード初期画面

- メニューでは6個の設定を通じてシステム関連全ての設定事項を変更又は維持できます。



メニュー移動は上下ボタンを利用します。

ENT



各メニューの細部設定に入ったり入力及び入力完了時に使用します。



各設定の前段階或いはモニタリングモード復帰時使用します。

RTN

•設定

6.1 画面設定

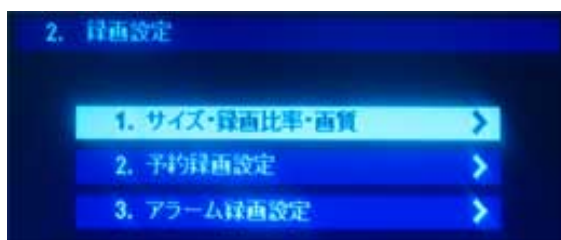


1. 日付/時間：日付と時間のOn/Off
2. タイトル：画面に表示されるカメラの名前をOn/Off
3. 状態：録画状態表示をOn/Offします。
(録画: 赤色、プレー録画: 緑色)
4. 画面分割線：4画面分割モードで各画面分割線をOn/Offします。
5. 画面分割線カラー：分割線の色を選択します。
(White、Blue、Red、Yellow、Green、Gray)
6. スイッチャー切替時間1：モニタリングモードの中で4チャンネルローテーションモードのローテーション周期を秒単位で設定します。(1~60秒)
7. デインタレースモード：高解像度低フレーム録画再生で画面が揺れる感じを除去してくれます。

※デインタレースモードがONの時は再生映像の動きはスムーズであるが画質は多少劣ります。OFFの時には画質は良いが再生映像の動きが多少スムーズになりません。(録画速度が30FPS以下の時)
※D1(704X480)の時のみ適用される。

6.2 録画設定

6.2.1 サイズ・録画比率・画質-解像度及び圧縮率、録画品質を設定します。



2.1 サイズ・録画比率・画質			
カメラ	サイズ	録画スピード	画質
1	352x240	30	最高
2	352x240	30	最高
3	352x240	30	最高
4	352x240	30	最高

- カメラ：設定するカメラの番号を表します。
- サイズ：映像解像度を設定します。
- 録画スピード：録画圧縮率(フレーム数)を調節します。
- 画質：録画画質を設定します。

•設定



• サイズ : 352*240、704*240、704*480

録画スピード: 1~30まで調節可能

画質 : 最高、高、標準、低の4段階で調節可能

• サイズ及び録画スピード調節時使用可能なフレーム数が表示されます。

• フレームオーバー時“ディスクの録画容量を超えました”とのメッセージが現れるしサイズ及び録画スピードの変更ができません。

Tip

• 以下のNTSCとPAL方式を参照してセッティングしてください。

NTSC : 352*240(120fps), 704*240(60fps), 704*480(30fps)

PAL : 352*288(100fps), 704*288(50fps), 704*576(30fps)

• 各々のチャンネル別にサイズ及び録画スピード、画質の調節が可能です。

• 全ての設定値変更時Enterボタンで値調節を活性化し値適用時Enterボタン、取消時Returnボタンが使えます。

6.2.2 予約録画設定 – 保存映像の録画可否及び時間、動体検知設定



• カメラ : 設定するカメラの番号を表します。

• 録画 : 録画をOn/Offします。

• 開始 : 録画開始時間(0~24)を設定します。

• 停止 : 録画停止時間(0~24)を設定します。

* 開始時間と停止時間の間に録画します。

• 動体検知設定: 動体検知設定画面に入ります。
(動体録画時録画状態は必ずON設定します。)

•設定

6.2.3 動体検知設定- 動体検知領域設定及び感度調整



- カメラ：設定する映像のカメラ番号を表します。
- 感度：1~100まで動作に反応する感度を調整します。
数字が高いほど敏感に反応します。
- 範囲：感度を検知する領域を設定します。
全部設定 – 全体画面に設定
部分設定 – 部分画面に設定
- プリ動体録画時間：動体が検知された後動体録画時録画前映像の録画時間を設定します。(1~5秒)
- ポスト動体録画時間：動体が検知された後動体録画維持時間を設定します。(5秒~3分)

6.2.4 アラーム録画設定- アラームイベント発生時録画設定



- カメラ：設定する映像のカメラ番号を表します。
- 録画：アラームイベント発生時録画On/Offを設定します。
- 開始：アラーム録画開始時間(0~24)を設定します。
- 停止：アラーム録画停止時間(0~24)を設定します。
- プリアラーム録画時間：イベントが検知された後アラーム録画時録画前映像の録画時間を設定します。(1~5秒)
- ポストアラーム録画時間：イベントが検知された後アラーム録画維持時間を設定します。(5秒~3分)

Tip

- 動体設定はタイムスケジュールに従い動作しアラームスケジュールは独立的に録画動作します。

•設定

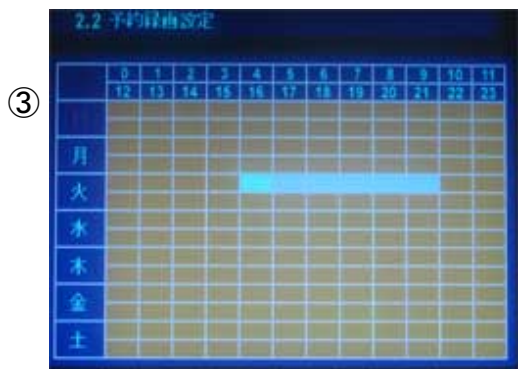
○ 予約録画週間設定



録画設定で週間モードに設定します。



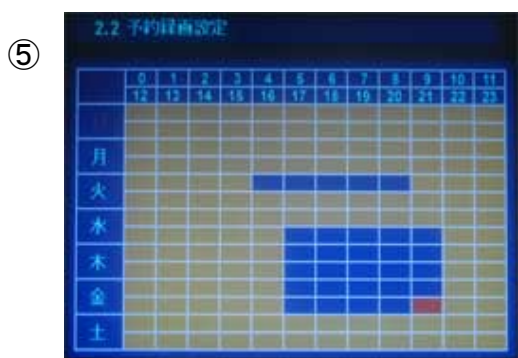
黄色い部分はスケジュールされた部分を表示します。



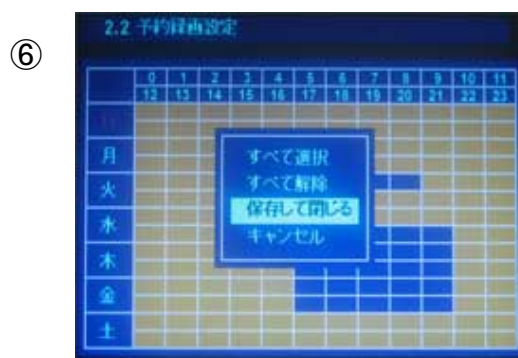
スケジュールを解除した後“ENTER”ボタンを押して領域を活性化させた後設定したい曜日と時間にカーソルを移動します。



設定したい領域を表示した後“ENTER”ボタンを新たに押せば赤色にスケジュール設定完了を表示します。



同じ要領で設定したい曜日と時間にスケジュールリングします。スケジュールリング作業が完了されたら“RETURN”ボタンで設定保存します。



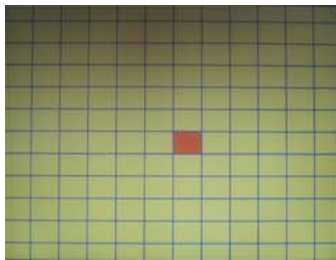
- 全て選択I: 全体領域設定
- 全て解除I: 領域設定の解除
- 保存して閉じる: 設定した内容保存後閉じる
- キャンセル: 設定した内容取消

•設定

◎ 動体部分領域設定方法

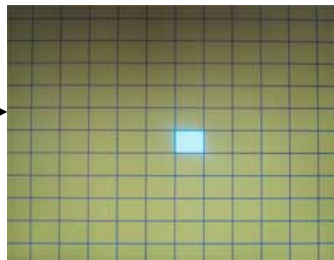
■ : 非活性移動カーソル ■ : 活性部分領域設定カーソル ■ : 部分領域完了カーソル ■ : 非部分領域カーソル

①



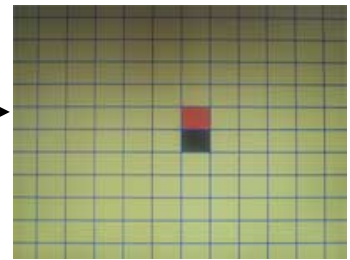
領域初期画面

②



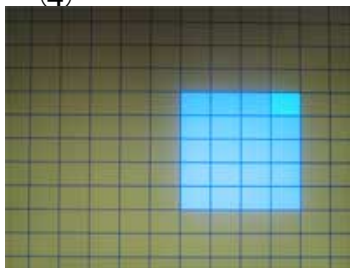
方向キーを利用してカーソルを移動した後設定した領域でENTERを押します。

③



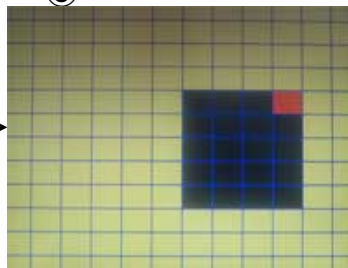
又ENTERを押せば青色で領域が表示され一つの非部分領域が設定されます。

④



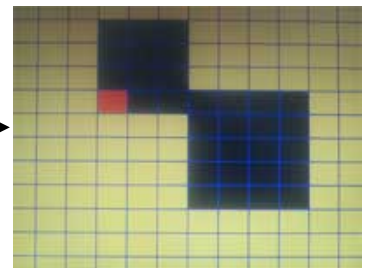
多数の領域を設定したい時は②で方向キーを利用して非活性領域を拡張させます。

⑤



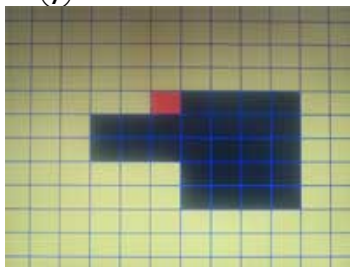
ENTERを押せば多数の非部分領域が設定されます。

⑥



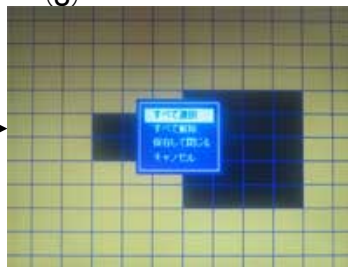
④⑤と同じ方法で非部分領域を拡張できます。

⑦



反対に領域を縮小したい時は④⑤の方法で非部分領域設定を取消します。

⑧



部分領域設定が完了されればENTERを押した後保存します。

- 全て選択I: 全体領域設定
- 全て解除I: 領域設定の解除
- 保存して閉じる: 設定した内容保存後閉じる
- キャンセル: 設定した内容取消

•設定

6.3 カメラ

6.3.1 ステータス/タイトル設定 – カメラ連結状態及びカメラの名前設定



- ・カメラ：設定する映像のカメラ番号を表します。
- ・ステータス：現在カメラが繋がっているかを表示します。
- ・タイトル：画面左側上段に出力されるカメラの名前を設定します。

Tip

- ・タイトル入力方法：

上下キーはアルファベットA～Z, 数字0～9まで変えます。左右キーは次の文字に移動する時使われます。

6.3.2 転換・PTZ設定



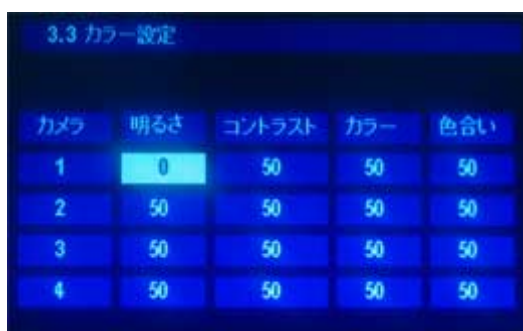
- ・カメラ：設定する映像のカメラ番号を表します。
- ・画面非表示：画面非表示の可否を設定します。
*画面非表示とは？
ON状態の時は該当チャンネルのディスプレイだけ隠す機能です。録画状態には影響を及びません。
- ・アドレス：PTZカメラのアドレスを指定します。
- ・PTZプロトコル：PTZカメラのプロトコルを設定します。
- ・転送速度：PTZ通信速度を設定します。(2400, 4800, 9600 BPS)

※ PTZ 可能なカメラ

Samsung(MRX-1000)、Kalatel(KTD-312)、Panasonic(WV-CS850)、
Panasonic(WV-CSR604)、PELCO-D、PELCO-P、
Sensormatic(ADPT8)、Vicon(surveyor99)

•設定

6.3.3 カラー設定 – 画面色相調節

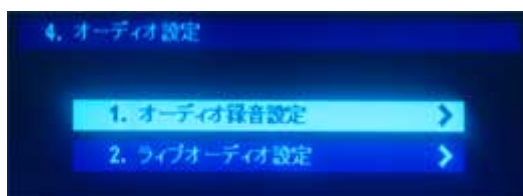


カメラ	明るさ	コントラスト	カラー	色合い
1	0	50	50	50
2	50	50	50	50
3	50	50	50	50
4	50	50	50	50

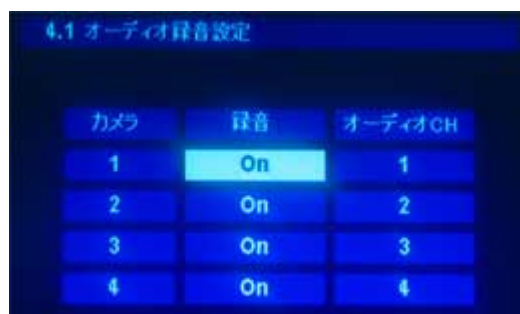
- カメラ：設定する映像のカメラ番号を表します。
 - 明るさ：画面の明るさを調節します。
 - コントラスト：画面のコントラストを調節します。
 - カラー：画面の色調を調節します。
 - 色合い：画面の彩度を調節します。
- * 各項目は0~100まで調節できます。

6.4 オーディオ設定

6.4.1 オーディオ録音設定



1. オーディオ録音設定	>
2. ライブオーディオ設定	>



カメラ	録音	オーディオCH
1	On	1
2	On	2
3	On	3
4	On	4

- カメラ：設定する映像のカメラ番号を表します
- 録音.：外部オーディオイン端子から入る音声を録音する可否を設定します。
- オーディオCH.：オーディオイン端子チャンネル設定を表し入力される音声信号をどのカメラに連結するかを設定します。

Tip

- ユーザーは保存された映像と共に一緒に保存された音声も聴取できます。
- 録画再生中音声確認は正方向正倍速再生でのみ可能であり、1CH画面モードで保存音声がある画面でのみ確認できます。

•設定

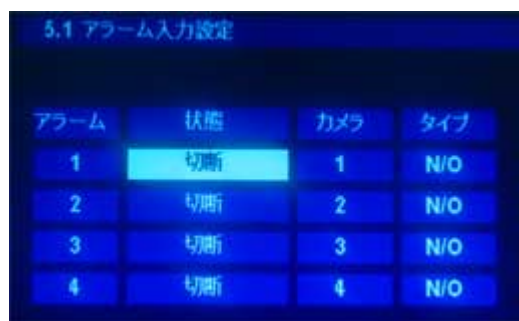
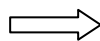
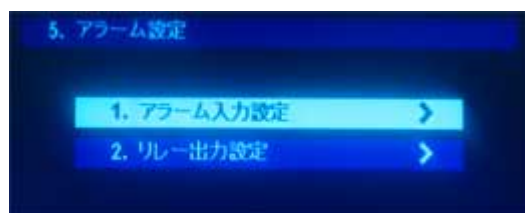
6.4.2 ライブオーディオ設定



- ライブオーディオ : オーディオアウトに行く音声をON/OFFします。
現在特定オーディオイン端子に入る音声信号を実時間に送り出します。
- モニタリング Ch. : 1~4番オーディオイン端子に入る音声信号の中でオーディオアウトに行くチャンネルの選択します。
- ネットワークオーディオ
 - ① 1方向 : リモートクライアントPCがシステムに接続後音声を伝達受ける方式を言います。
ユーザーはクライアントで映像と共に音声を同時に聴取できます。
 - ② 2方向 : リモートクライアントPCがシステムに接続後音声をやり取りする方式を言います。
ユーザーはシステムの音声を聴取する同時にクライアントの音声をシステムに転送します。
 - ⑤ ライブオーディオのOn/Off設定に関係なくネットワークオーディオは動作します。

6.5 アラーム設定

6.5.1 アラーム入力設定



- アラーム : アラームが出る端子の番号を表します。
- 状態 : 現在アラームセンサーの連結可否を見せます。
- カメラ : 設定する映像のカメラ番号を表します。
- タイプ : アラームセンサーのNormal Open或いはNormal Closeタイプを設定します。

•設定

6.5.2 リレー出力設定

アラーム	リレー出力	モード	時間
1	不可	保持	5 秒
2	不可	保持	5 秒
3	不可	保持	5 秒
4	不可	保持	5 秒

リレータイプ: N/O

- アラーム：アラームが出る端子番号を表します。
- リレー出力：アラームセンサーと連結してリレー設定可否を設定します。
- モード：反応するリレー設定を保持/非保持モードを選択します。
- 時間：反応するリレー時間を設定します。
(5秒~5分或いはキー入力まで)
- リレータイプ：リレータイプをNormal Open或いはNormal Closeに設定します。

Tip

• 保持/非保持

保持 – センサーアラームが認識されれば設定した期間の間反応します。
非保持 – センサーアラームが認識される間のみ反応します。

6.6 システム設定

6.6.1 日付・時間設定

6. システム設定	
1. 日付・時間設定	>
2. ネットワーク	>
3. プザー設定	>
4. パスワード	>
5. ハードディスク書入モード	>
6. システム情報	>
7. 出荷時設定	>



6.1 日付・時間設定	
日付	2006-01-18
日付初期化	年-月-日
時間	15:38:39
時間初期化	24 時間
夏時間	Off

- 日付：現在の日付を年月日順に設定します。(日付/時間を過去に設定すれば該当領域にデータがある場合該当部分のデータ削除可否を問います。いいえ->日付/時間変更なし、はい->データ削除後時間変更)
- 日付初期化：日付が出力される模様を形成します。(例: 2004-00-00, 2004/00/00)
- 時間：現在の時間を設定します。
- 時間初期化：時間表示形式を12時間基準及び24時間基準に設定します。
- 夏時間：国地域を設定するもので夏時間を適用します。

•設定

6.6.2 ネットワーク設定



• ネットワークスピード：ネットワークスピードを設定します。

※ 注意！ 設定後再スタートをしてから設定が反映されます。

• ‘次’ ボタンを押して次の設定を進行します。

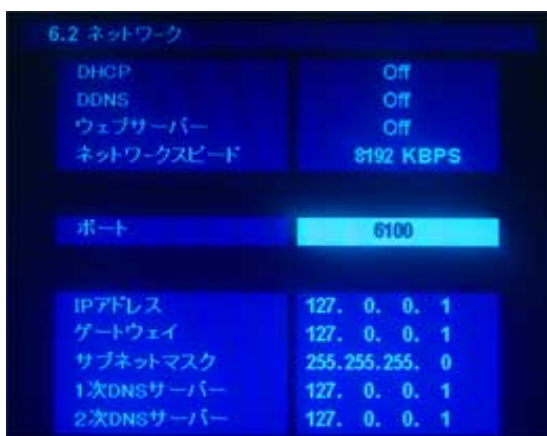
• DDNSサーバーは固有アドレスなので設定変更をしないで下さい。



<DHCP ON、DDNS OFF>



<DHCP ON、DDNS ON>



<DHCP OFF、DDNS OFF>



<DHCP OFF、DDNS ON>

※ IIP共有機を通じてネットワークに繋がっている時は必ずポートフォワーディングをしなければなりません。そうしないと外部で接続時連結されない場合があります。

設定

DHCP

- ① DHCP On/Offを設定します。
- ② DHCP Off : ユーザーが直接IPアドレスを入力します。
- ③ DHCP On : DHCPをOnさせた後システムをリスターとさせます。
- ④ システム情報で自動でIP設定されたことが見えます。

※ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) : ネットワークがIPを自動設定機能を支援する場合 DVRのIP設定を自動でやってくれる設定をします。

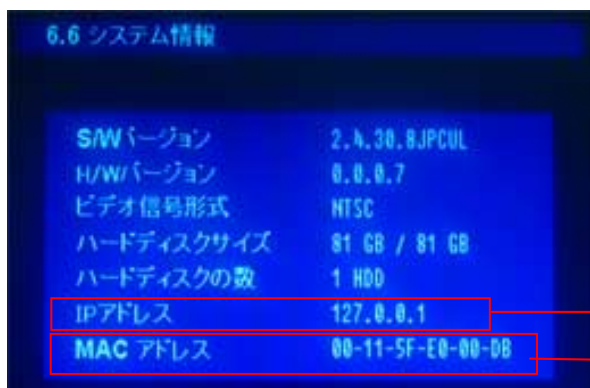
支援しなければネットワーク管理者に適切なIP設定値を問合せ下さい。

DHCPで設定して長い時間が経ってもシステム情報のIPが127.0.0.1で出るとIP自動設定が失敗したと見做し、手動でIPを設定しなければなりません。

DDNS

DDNS(Dynamic DNS)機能: クライアントやウェブブラウザでIPを直接入力する必要なく固定ドメイン名前 (例: 00115f000001.dvrlink.net)でDVRに接続できるようにする機能です。

1. DHCPをOnしたりネットワーク使用者が直接入力をして正しく設定します。
 2. DDNSをONさせた後システムをリスターとします。
 3. DVRで設定窓を出した後'6.システム -> 6.6 システム情報項目に入ります。
 4. MACアドレスを確認します。
 5. MACアドレスで“－”を除いて後に.dvrlink.netをつければDVRのドメイン名前になります。
例)Macアドレスが00-11-5f-00-b5-a7であれば、ドメイン名前は00115f00b5a7.dvrlink.netになります。
 6. クライアントプロگرامやウェブブラウザで00115f00b5a7.dvrlink.netに接続すれば接続されます。
- ※ 1. DVRが外部ネットワークに連結されていないか、
2. IP共有機を使ってネットワークに接続されている時、ポートフォワーディング機能を使用しない場合、
3. DNSサーバー、ゲートウェー、サブネットマスク等が正しく作成されていない場合
DDNSサービスを受けることができません。



※DDNS機能を使用すれば、接続時毎にIPアドレスを再入力する手間がなくなります。

システム情報項目でDHCPに割り当てられたIPを確認できます。

DVRに固有で割り当てられたMACアドレスです。

•設定

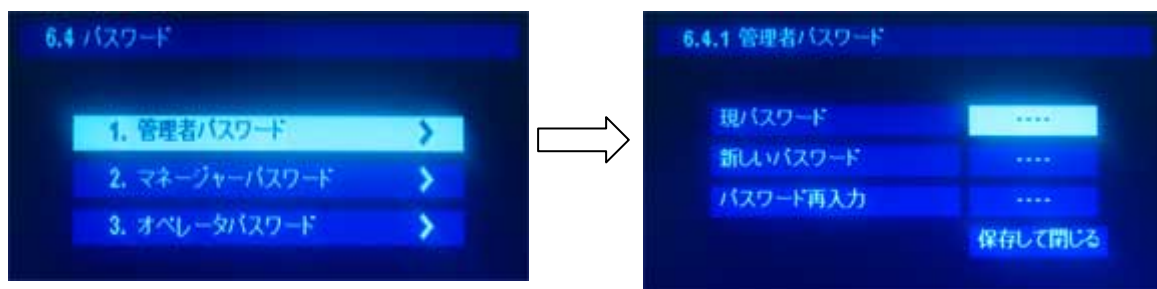
6.6.3 ブザー設定



- アラーム入力 : アラームが発生した時警告音をOn/Offします。
- ビデオロス : カメラ映像接続がないことを知らせる警告音をOn/Offします。
- ハードディスクフル : ハードディスクがフルになった時警告音をOn/Offします。
- ハードディスクエラー : ハードディスクに異常が発生すれば警告音が鳴ります。
- ボタン入力 : 製品ボタンを押した時鳴るボタン音を設定します。

6.6.4 パスワード設定

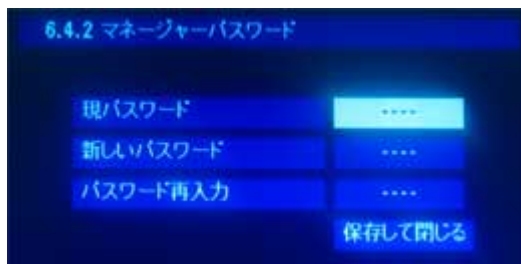
6.6.4.1 管理者 パスワード — 管理者パスワード設定でメニュー設定とシステムをON/OFFできるパスワードです。



- 現パスワード : 現パスワードを入力します。(初期パスワード: 1234)
- 新しいパスワード : 新しいパスワードを入力します。
- パスワード再入力 : もう一度新しいパスワードを同一に入力します。
- 保存して閉じる : パスワード設定が終われば設定を保存して閉じます。

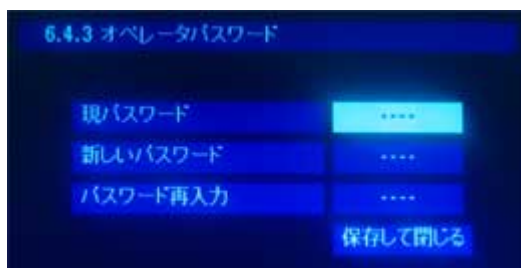
•設定

6.6.4.2 マネージャー パスワード – 製品をON/OFF及び検索はできるがメニュー設定は操作できません。



- 現パスワード : 現パスワードを入力します。(初期パスワード: 1234)
- 新しいパスワード : 新しいパスワードを入力します。
- パスワード再入力 : もう一度新しいパスワードを同一に入力します。
- 保存して閉じる : パスワード設定が終われば設定を保存して閉じます。

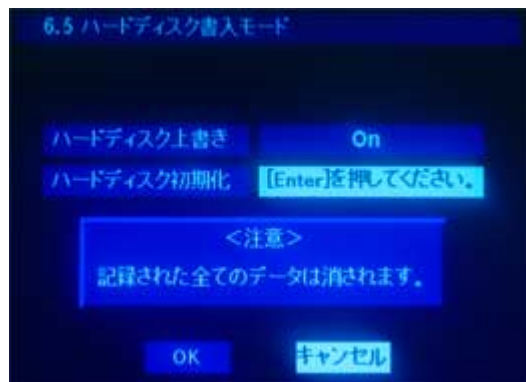
6.6.4.3 オペレーター パスワード – 製品をON/OFFできるがメニュー設定及び検索は操作できません。



- 現パスワード : 現パスワードを入力します。(初期パスワード: 1234)
- 新しいパスワード : 新しいパスワードを入力します。
- パスワード再入力 : もう一度新しいパスワードを同一に入力します。
- 保存して閉じる : パスワード設定が終われば設定を保存して閉じます。

•設定

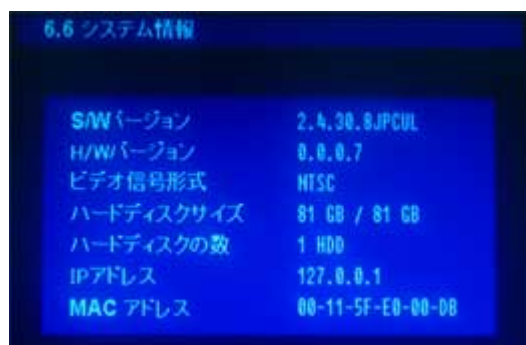
6.6.5 ハードディスク書入れモード



- ハードディスク上書：ハードディスクがフルになった時上書をして録画するかの可否を選択します。
ON: 一番古いデータから上書をして録画します。
OFF: ハードディスクがフルになれば録画を中止し警告音を出します。
- ハードディスク初期化: ハードディスクを初期化します。保存された全ての録画記録が削除されます。
- 上の初期化項目でENTERキーを押せば警告窓が出てもう一度“はい”を押してハードディスク初期化をします。

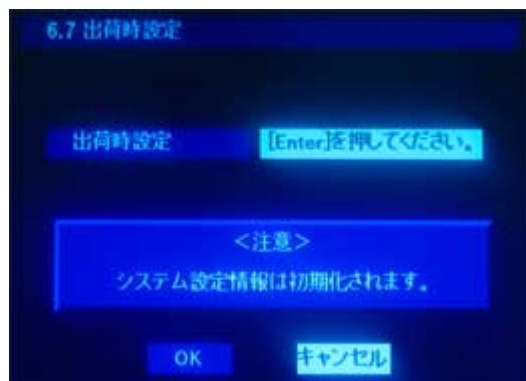
※ ハードディスク上書ON/OFF変更時該当時点から適用されます。例えば上書状態でハードディスクにデータがフル状態であっても上書をOFFすれば該当時点以降の新しいデータがハードディスクを詰めるまで録画をした後録画を中止します。

6.6.6 システム情報



- S/Wバージョン：製品に搭載されているS/Wバージョン
- H/Wバージョン：製品に搭載されているH/Wバージョン
- ビデオ信号形式：ビデオ信号形式(NTSC/PAL)
- ハードディスクサイズ：ハードディスク使用容量及び総容量
- ハードディスクの数：現在装着されているハードディスクの数
- IPアドレス：製品のIPアドレス
- MACアドレス：製品のMACアドレス

6.6.7 出荷時設定

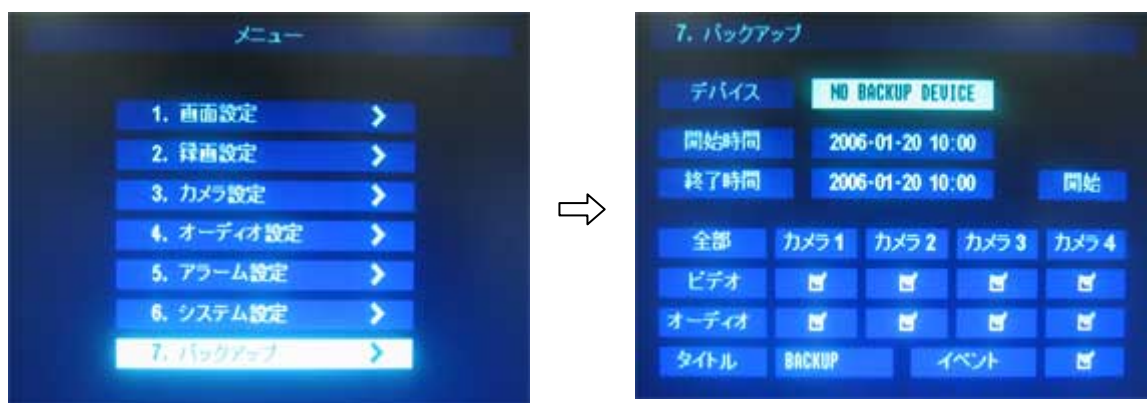


- 設定初期化のために“ENTERを押してください”を押します。
- 初期化に対する警告窓が出てOKをすれば製品の設定初期化が行われます。
- 出荷時設定を選択すれば保存された映像は削除されませんが全ての設定は出荷当時に戻るので注意を要します。

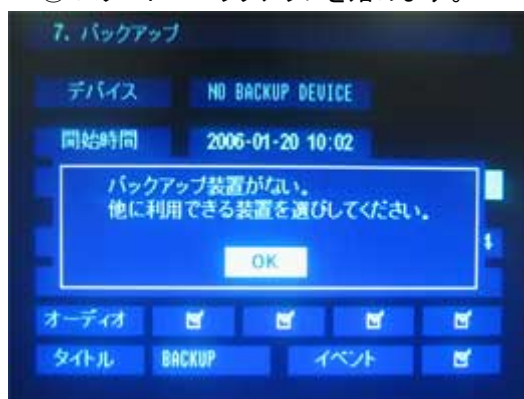
•メニュー

6.6.7. バックアップ – USB ポート (オプション)

- まず 7.バックアップにカーソルを当てた状態でUSB端子にUSBメモリを挿入します。
- バックアップのメニューを押せば設定メニューが下記の左側の画面の通り表示されます。



- ① 装置：バックアップ用 USB メモリ (或いは USB HDD) モデルを表示します。
- ② スタート時間：バックアップのスタート時間を設定します。
- ③ 終了時間：バックアップの終了時間を設定します。
- ④ CH1～CH4,ビデオとオーディオ：バックアップするオーディオ、ビデオおよびチャンネルをせんたくします。
- ⑤ タイトル：バックアップのタイトルを表示します。
- ⑥ イベント：イベントのテキストファイルの包含可否を選択します。
- ⑦ スタート：バックアップを始めます。



- バックアップ用 USBが不具合だと左側の画面の通りエラーメッセージが表示されます。

Tip

- 現在、確認されたUSBメモリはLG(Royal, mobile, mirror)とIMATION(iflash)です。
- USB HDDは CUTIE(FHD-254)モデルです。

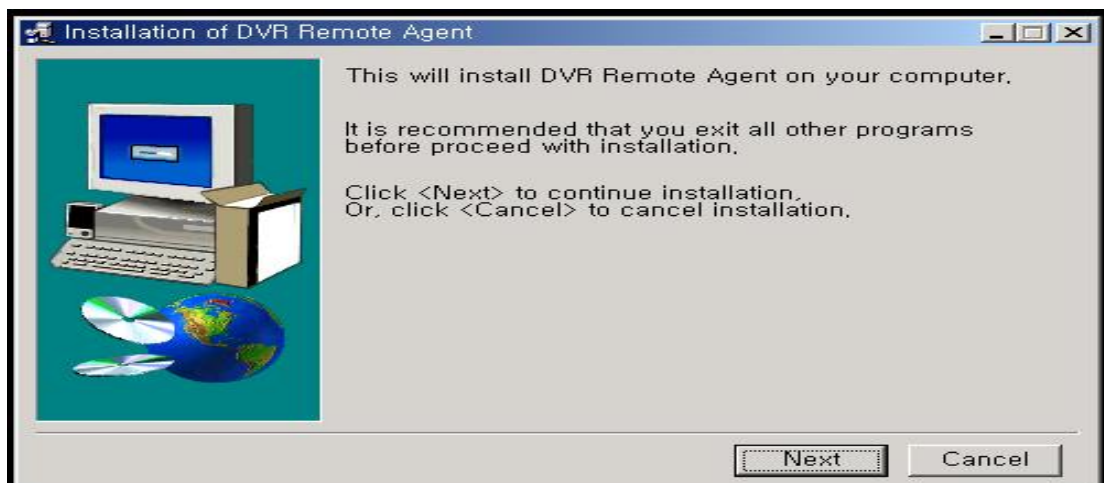
• Chapter 7 – リモートクライアント

• システム要求事項

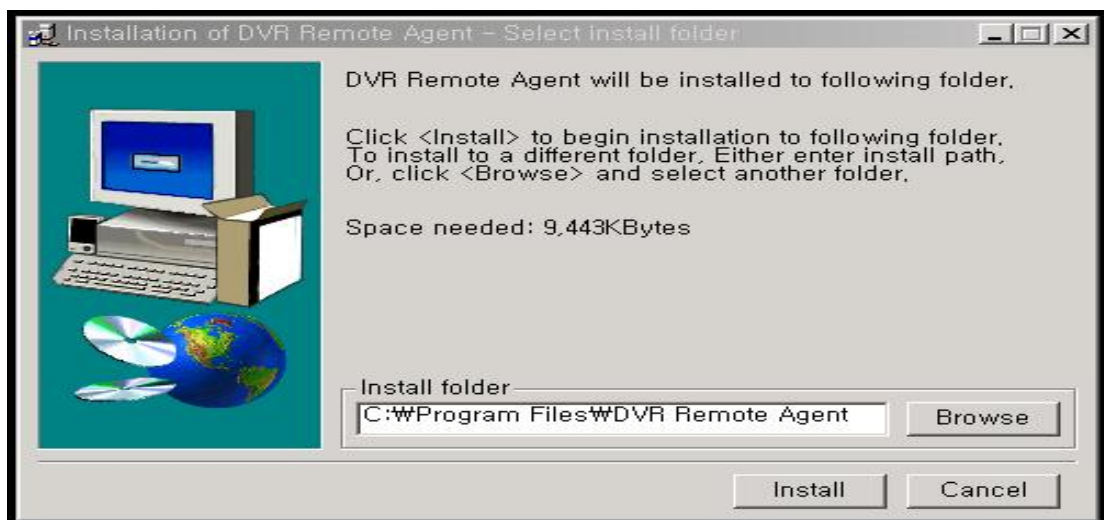
- ① メインボード(CPU): セレロン700(最少), ペンティアム4推奨
- ② 運営体制: Windows 98以上, DirectX 7.0A以上
- ③ メモリ(RAM): 128 M以上
- ④ グラフィックカード: Radeon種類は全て、Nvidia社のGeforce系列、Matrox社のG450系列以上

• リモートクライアント設置

- ① CD-ROMドライブを開けてDvrRemoteAgentSetup.exeを実行すると設定メニューが始まります。

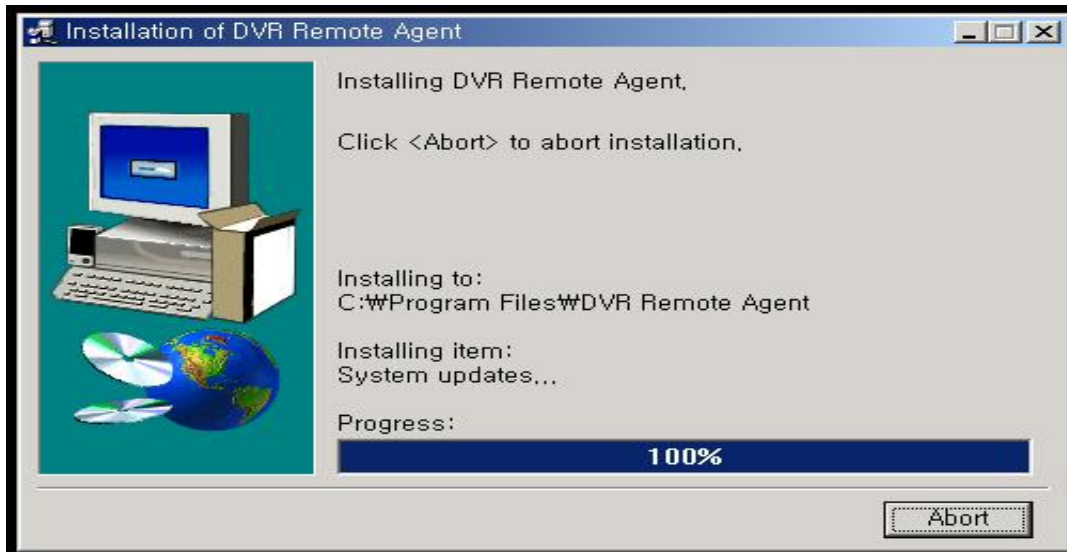


- ② 実行中の全てのS/Wを終了します。Nextを押せば次のステップに行きます。



・リモートクライアント

③ DvrRemoteAgentを設置するフォルダを問う画面が出るが、基本値でc:\program ファイル:\ DvrRemote Agentが設定されています。この設定を変えないことをお勧めします。Nextボタンを押します。



④ ファイルがコピーされる過程を見せます。



• リモートクライアント

⑤ DirectX 7.0aをインストールする窓が出ます。DirectXのバージョンが7.0a以下であれば“Yes”を押して設置を始めます。



⑥ 設置が完了されればシステムをリスタートしなければならないので“Yes”を押します。
(この窓が出ない場合もあります。)



・リモートクライアント

7.1 モニタリング

7.1.1 機能説明



- ① メイン映像画面：現在モニタリング中のカメラの映像を見せます。
- ② カメラ選択ボタン：連結されているカメラを表示します。
- ③ 最小化/終了ボタン：リモートクライアント窓を最小かしたり終了させます。
- ④ 時間表示窓：現在の日付と時間を見せます。
- ⑤ 検索：保存された映像の検索できるモードに転換されます。
設定：ネットワーク設定及びオプションを設定できるモードに転換されます。
- ⑥ ID選択：連結したいDVRシステムを選択します。
- ⑦ 接続：DVRシステムと接続します。(EL-150D)
切断：DVRとの接続を解除します。
- ⑧ 画面分割選択：見たい分割モードを選択します。
- ⑨ AVIファイル保存：現在転送されるライブ映像をAVIファイルで保存します。
- ⑩ カラー調整：ライブ転送映像のカラーを調整します。
- ⑪ PTZ制御ボタン：カメラPTZ及びFocusを調整します。
- ⑫ 終了：リモートクライアントを終了します。

・リモートクライアント

7.1.2 画面モード転換



- 1*1ビュー：ユーザーが選択した一つの画面だけ見せます。
(映像画面選択は画面下のカメラ選択ボタンを使用します。)
- 4*4ビュー：分割画面に転換し四つの映像画面を一緒に見せます。
- ローテーションビュー：ユーザーが指定した秒に反応して1*1ビュー画面を次々に見せます。(4*4ビューでは動作しません。)
- フル画面ビュー：現在の画面をフル画面ビューに転換します。
元の画面に復帰時はマウスをダブルクリックします。

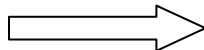
*映像にマウスダブルクリック時フル画面と同じ機能を遂行します。

7.1.3 PTZ (Pan, Tilt, Zoom)調整



- P/T/Z 上下左右調整ボタン：P/T/Zカメラの方向を上下左右ボタンで調整します。
- FOCUS/ZOOM 選択ボタン：Focus及びZoomを選択して左右(+),(-)ボタンで調整します。
- (+), (-)調整ボタン：Focus及びZoomを調整します。

7.1.4 DVRシステム選択



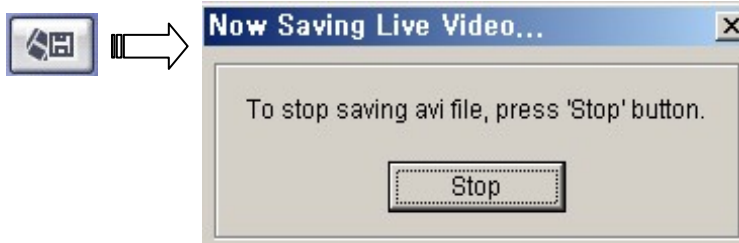
ネットワーク 情報
アイコン

- DVRシステム選択窓でIDを選択してサーバーと接続をトライします。
- DVRシステムは設定で追加お呼び変更、削除できます。

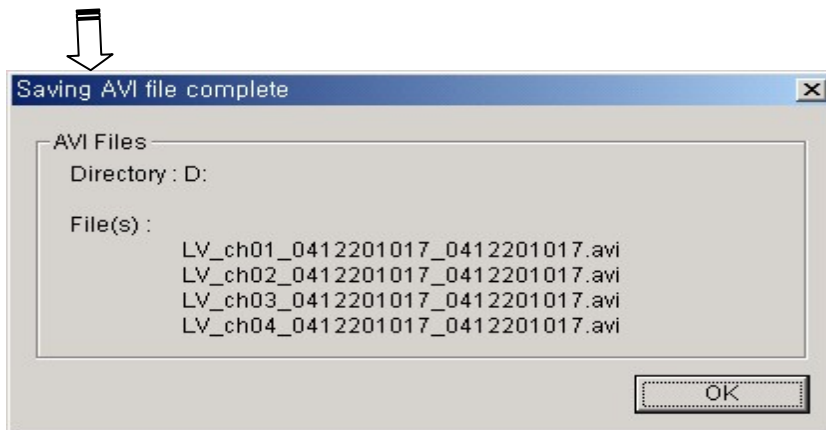
- ネットワーク情報アイコンをクリックすれば、現在のサーバーと通信するID及びIP情報をポップアップ窓で表します。

・リモートクライアント

7.1.5 AVIファイル保存

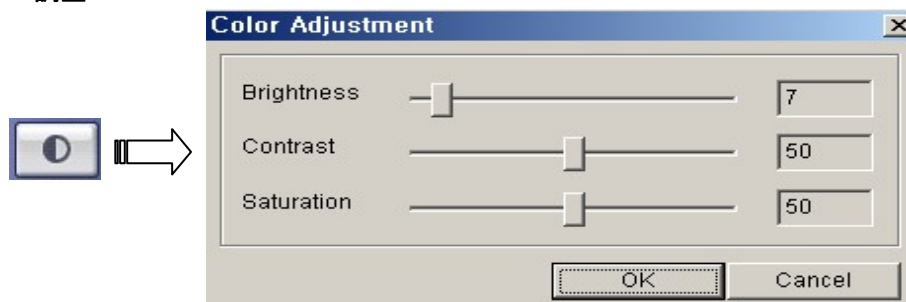


- AVI保存ボタンをクリックすればその時点からAVIファイルの保存が始まります。
- AVI保存中メッセージ窓が出て“中止”ボタンを押す時まで実時間で続けられます。



- “中止”ボタンを押せば完了メッセージ窓が出て保存されたフォルダとファイルの名前を見せます。
- 保存されたAVIファイルはバックアッププレイヤー及び一般動映像プレイヤーで再生できます。
- 動映像プレイヤーのMコーデックはIMM4コーデックが必要です。

7.1.6 カラー調整



- カラー調整ボタンをクリックして映像のカラーの細部調整ができます。
- 調整窓で明るさ、コントラスト、彩度を0から100まで調整します。
- “OK”ボタンを押せば設定変更完了します。

・リモートクライアント

7.2 検索

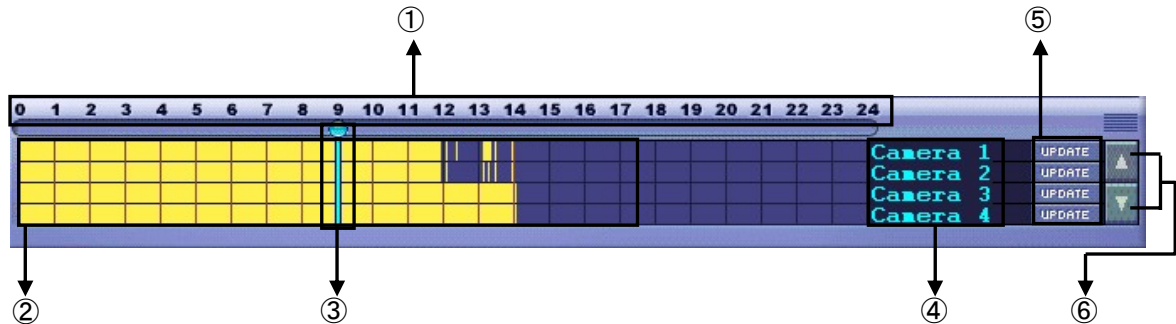
7.2.1 機能説明



- ① 検索映像画面：ユーザーが検索した映像を再生します。
- ② 検索バー：時間帯別カメラ録画状態が表示されます。
- ③ ライブ：モニタリングモードに戻ります。
設定：ネットワーク設定及びオプションを設定できます。
- ④ 画面分割選択：見たい分割モードを選択します。
- ⑤ 検索オプション：バックアップ、バックアップファイル再生、イベント検索、ログ検索、停止画面保存、停止画面出力の機能です。
- ⑥ カメラ選択ボタン：1*1ビューで見たいカメラを選択します。
- ⑦ Quick検索：ユーザーが見たい日付と時間を手動で指定して見たい映像を探します。
- ⑧ 再生/停止ボタン：映像の再生及び停止を遂行します。

・リモートクライアント

7.2.2 検索方法



- ① 0~24時までの時間を区分します。
- ② 検索された日付の録画がされている状態を表示します。(青色：録画なし、黄色：該当時間に録画資料あり)
- ③ 検索基準バー：該当日付の録画資料でマウスで基準バーを動かして見たい時間の映像を探します。
- ④ カメラのチャンネルを見せることで見たいカメラの録画状態を確認できます。
- ⑤ 録画情報を見せる状態窓をカメラチャンネル別にアップデートする効果があります。

日付設定タブをクリックして
カレンダーから見たい日付を
選択します。



日付を選択した後見たい
時間を入力すれば検索
窓の基準バーが移動し
ます。

プログラム終了ボタン

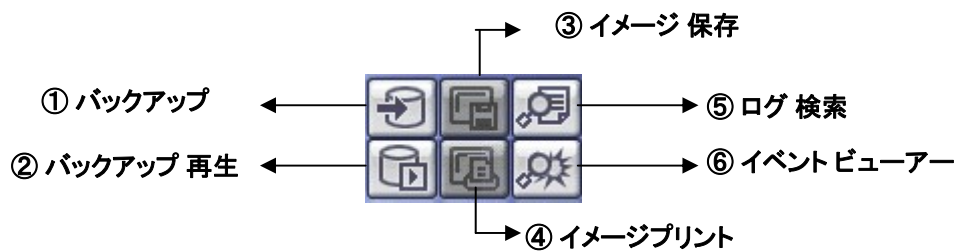


映像を再生します。
(正方向1倍速)

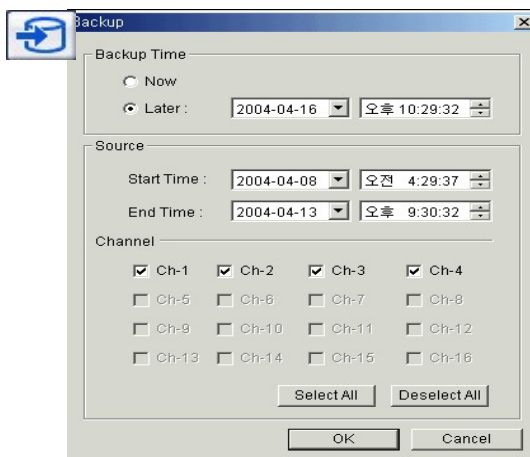
映像を中止します。

・リモートクライアント

7.2.3 検索設定



① バックアップ – サーバーに保存された映像をリモートPCに持って来てバックアップ



・バックアップタイム：バックアップを今するか後でするかを決めます。

・後でする場合はバックアップする日付を時間を決めます。

・ソース： Start Time : 2004-04-12 午後 7:50:25
End Time : 2004-04-15 午前 4:42:22

開始時間と終了時間を入力してバックアップする映像の範囲を指定します。

・チャンネル：バックアップするカメラ映像のチャンネルをチェックします。

・全てのチャンネルを選択するか解除します。

・OKボタンを押せば下のバックアップ状態窓が出てバックアップが開始されます。



・バックアップが完了されればバックアップ状態窓がなくなり、バックアップされたデータはリモートPCの指定されたフォルダに保存されます。

・リモートクライアント

② バックアップ再生(DVRプレイヤー)



① 再生される映像を見せます。(1*1ビュー モードだけ支援します)

② 映像を再生するためにバックアップされたファイルを呼んできます。

例.: ch02_04131730_04131735.avi

(2番チャンネルの4月13日17時30分から17時35分までのバックアップファイルです)

③ 現在再生される動映像ファイルの総再生時間を表示します。

Total: 00:02:00

④ 現在再生される日付及び時間を表示し、日付及び時間で直接検索可能です。

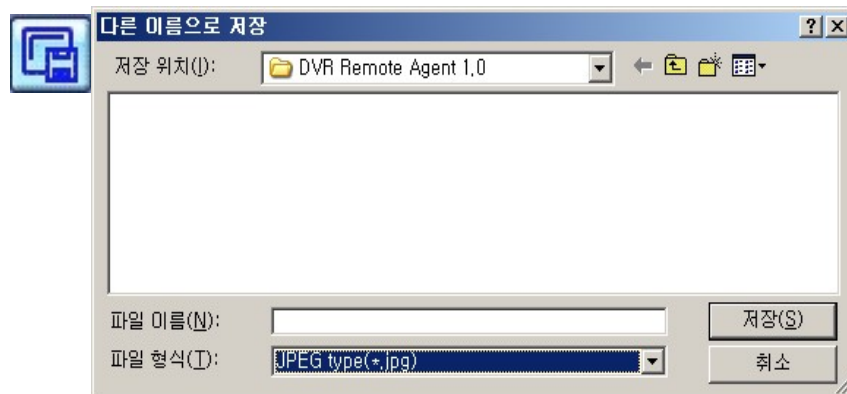
⑤ 検索調節ボタンで前での検索方法と同一です。

Tip

- ・バックアップ再生設定はリモートプログラムを実行しないで単独実行可能です。
- ・専用バックアッププレイヤー及びWindows Media Playerで再生可能で、実時間AVIバックアップファイルも再生可能です。

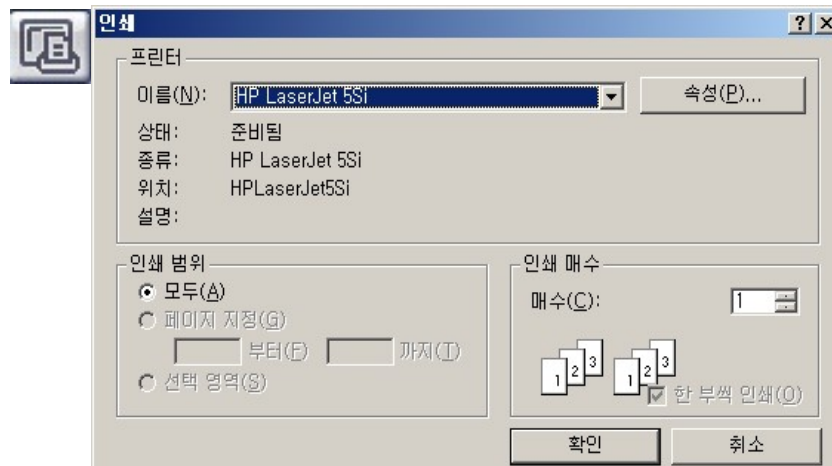
・リモートクライアント

③ イメージ保存 – 現在映像をキャプチャーしてハードディスク及び移動ディスクにイメージを保存します。



- ・見たい映像イメージ再生中に“イメージ保存”アイコンをクリックします。
- ・保存フォルダ及び保存名前を選択する窓が活性化され、欲しいフォルダにファイルの名前とファイルタイプ(JPG、BMP)を指定した後保存を押します。
- ・リモートクライアント再生窓の画面がそのままイメージに変換され保存されます。

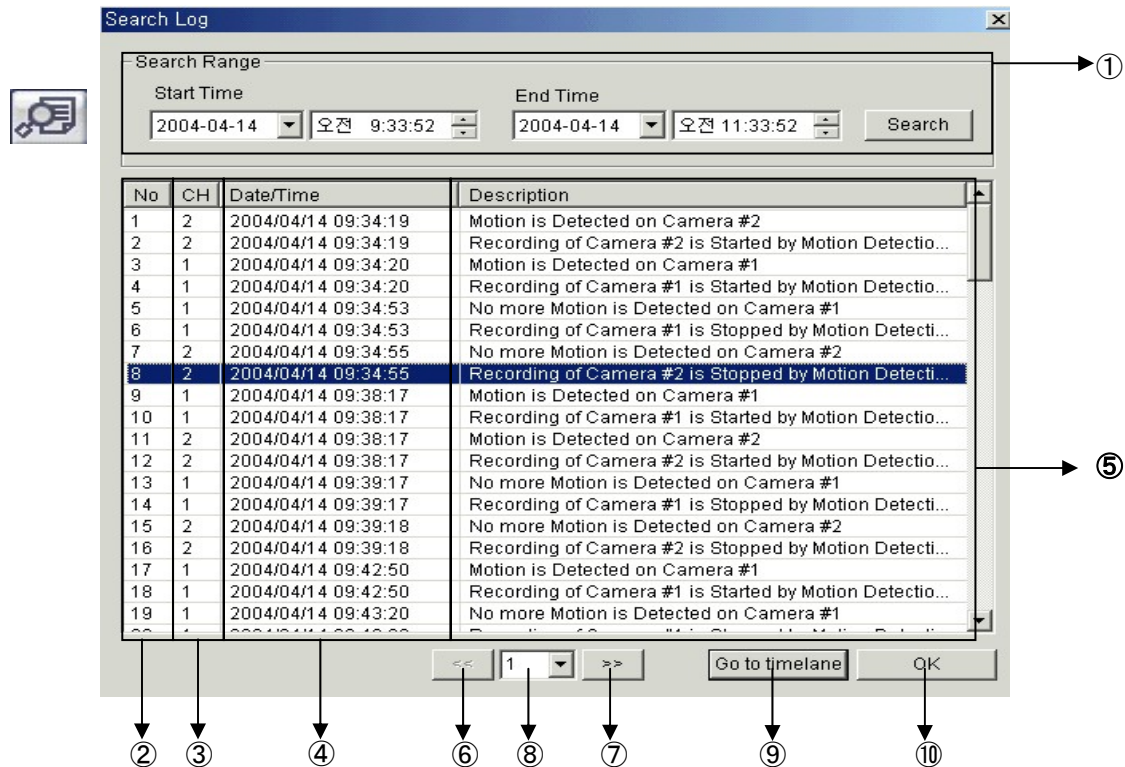
④ イメージ プリント – 現在映像をキャプチャーして連結されたプリンターにイメージを出力します。



- ・見たい映像イメージ再生中に“イメージプリント”アイコンをクリックします。
- ・運営体制で支援するプリンター設定窓が出て、連結されたプリンターを指定しイメージプリントを始めます。
- ・リモートクライアント再生窓の画面がそのままイメージに変換され出力されます。

・リモートクライアント

⑤ ログ検索 – DVRシステムで発生したログを検索します。



① イベントを検索する日付の開始時間と終了時間を入力します。

検索ボタンを押せば下のイベント出力窓に各種イベントが出力されます。

② イベントログに対する順序番号を出力します。(一ページ当たり最大イベントログ数は100個です)

③ イベントが発生したカメラ番号を表します。

④ イベントが発生した日付と時間を表します。

⑤ 各項目のイベントの詳細内容を表示します。

⑥ 前のページに移動します。

⑦ 次のページに移動します。

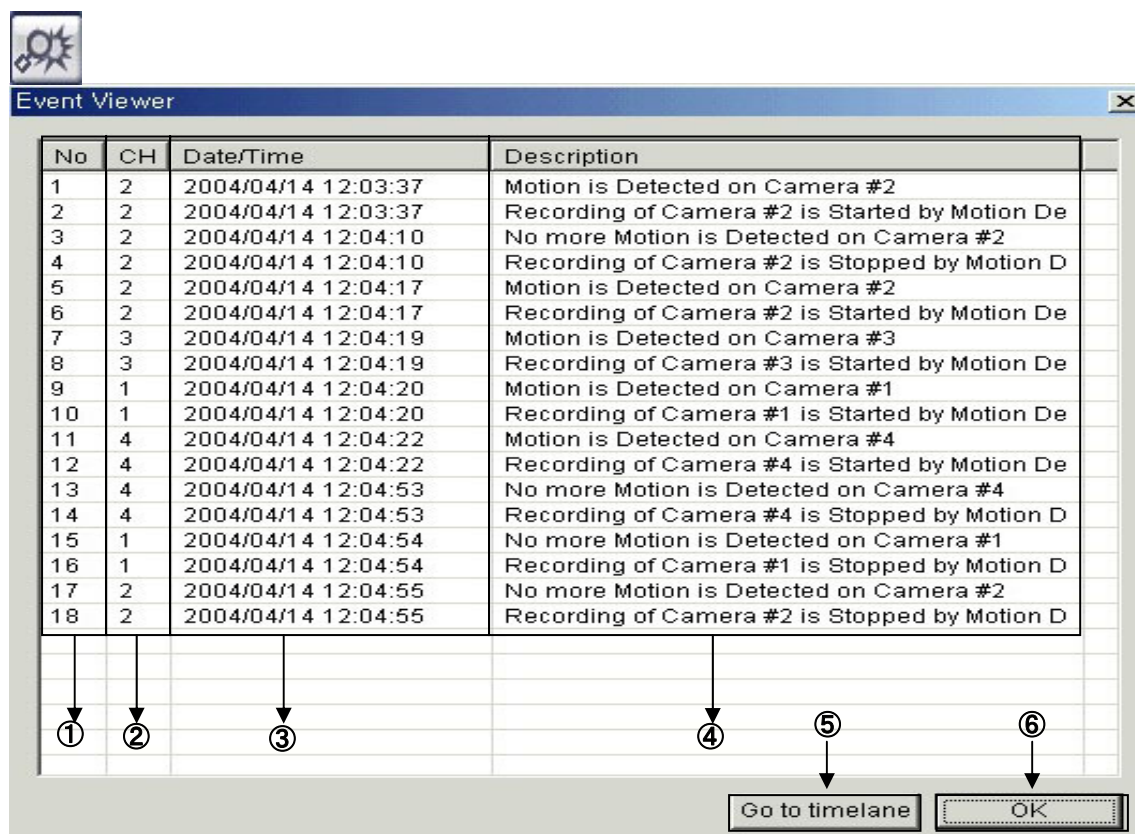
⑧ ユーザーが指定したページに移動します。

⑨ 選択したイベントログにすぐ移動します。

⑩ ログ検索を終了します。

・リモートクライアント

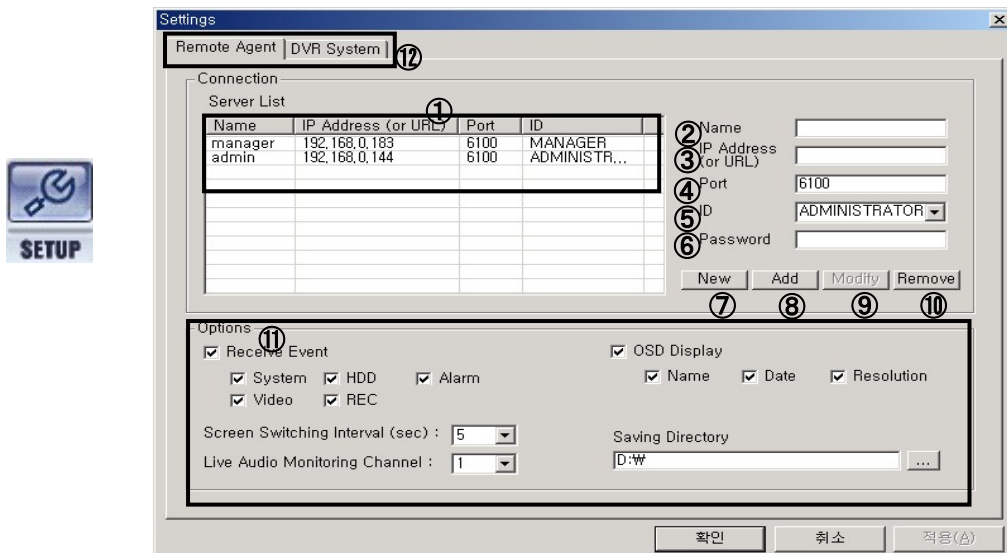
⑥ イベントビューアー – 現在サーバーで発生するイベントを実時間に見せます。



- ① 発生するイベントの順序番号を出力します。
- ② イベントが発生したカメラ番号を表します。
- ③ イベントが発生した日付と時間を表します。
- ④ 各項目のイベントの詳細内容を表示します。
- ⑤ 選択したイベント項目にすぐ移動します。
- ⑥ イベントビューアーを終了します。

・リモートクライアント

7.3 設定



7.3.1 接続ID設定

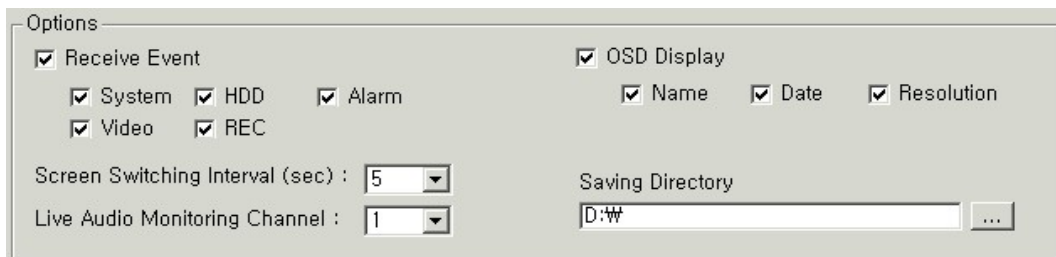
- ① DVRリスト状態窓：現在保存されたDVR及びDVR情報を表します。
- ② 追加又は修正するDVRの固有名前を入力します。
- ③ 追加又は修正するIPアドレス及びURLを入力します。
- ④ ポート番号を入力します。(6100ポート固定)
- ⑤ DVRに接続するIDを選択します。(管理者、マネージャー、オペレーター)
- ⑥ DVRに接続するIDのパスワードを入力します。
- ⑦ 新しいDVR情報を入力します。
- ⑧ DVR情報を全て入力後ID状態窓にDVR情報を追加します。
- ⑨ DVR情報を全て修正後ID状態窓に修正されたDVR情報を適用します。
- ⑩ DVRリスト状態窓の選択したDVRを削除します。
- ⑪ オプション：各種オプション事項を変更します。
- ⑫ システム設定：管理者のみ活性化されて、DVRの自体設定を遠隔に変更します。

Tip

- ・ 管理者で遠隔設定変更時DVRの設定窓は非活性であること。
- ・ 管理者接続者の数は最大1名、マネージャー及びオペレーター及びウェブ-クライアントを含めて最大4名まで支援します。

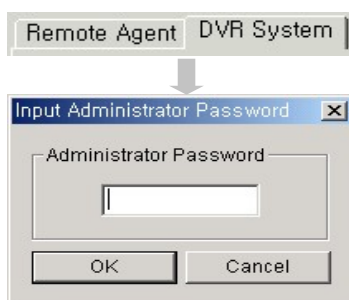
・リモートクライアント

7.3.2 オプション設定



- ① イベント受信 : DVRで転送されるイベントの種類を複数選択できます。
(システム、HDD、アラーム、ビデオ、録画)
- ② 画面切替インターバル(秒) : モニタリングモードで画面切替時間を調整します。
(2秒から300秒まで)
- ③ ライブオーディオモニタリングチャンネル : DVRシステムから転送される4チャンネルオーディオの中でリモートクライアントでライブ音声を聞きたいチャンネルを選択します。
- ④ OSDディスプレイ : DVRシステムから転送される映像画面の情報を出力可否を設定します。
(名前、日付、解像度)
- ⑤ 保存フォルダ : リモートPCのバックアップ映像保存フォルダを指定します。

7.3.3 DVRシステム遠隔設定



- ・DVRシステムタブをクリックするとパスワードを問う窓が出てパスワードを入力した後設定ウィンドウズがポップアップされます。
- ・DVRシステムタブは管理者で接続した時のみ出ます。
- ・DVRシステム設定は全てのDVRシステムの設定を変更できます。
- ・DVRシステムで設定窓がポップアップされていたり設定変更時にはリモートクライアントで設定変更が不可能です。
- ・リモートクライアントでシステム設定途中にDVRシステムで設定に入ればリモートクライアントのシステム設定窓は自動に閉じられます。

Tip

- ・リモートクライアント接続ID権限
 - 管理者 : リモートクライアントの全ての権限がありDVRシステム設定可能
 - マネージャー : リモートクライアントの全ての権限があるがDVRシステムの設定は不可能
 - オペレーター : リモートクライアントの画面のみモニタリング及び設定可能

・リモートクライアント

① 録画設定

The screenshot shows the 'Settings' window with the 'Record' tab selected. It contains three main sections: 'Size / Record Rate / Quality', 'Timer Recording', and 'Alarm Recording'.

Camera	Size	Rec. Rate	Quality
1	704 × 480	7	Highest
2	704 × 480	7	Highest
3	704 × 480	7	Highest
4	704 × 480	7	Highest

8 Frames Available

Camera	Record	Mode	Start	Stop
1	On	Daily	0	24
2	On	Daily	0	24
3	On	Daily	0	24
4	On	Daily	0	24

Camera	Record	Start	Stop
1	On	0	24
2	Off	0	24
3	Off	0	24
4	Off	0	24

Pre-Alarm Duration (sec) 1
Post-Alarm Duration (sec) 5

Camera	Motion	Sensitivity	Region
1	Off	5	Entirely
2	Off	5	Entirely
3	Off	5	Entirely
4	Off	5	Entirely

Pre-Motion Duration (sec) 1
Post-Motion Duration (sec) 5

Buttons: 확인, 취소, 적용(A)

- ・録画サイズ/録画比率/画質設定 - 各画面の解像度及び圧縮率等を設定します。
- ・予約録画設定 - 各チャンネルの録画スケジュールを設定します。
- ・アラーム録画設定 - アラーム感知と関連して録画設定します。
- ・動体検知設定 - 動体検知に関連して録画設定します。

② カメラ設定

The screenshot shows the 'Settings' window with the 'Camera' tab selected. It contains three main sections: 'Status / Title', 'Color', and 'Covert / PTZ'.

Camera	Title
1	CAMERA1
2	CAMERA2
3	CAMERA3
4	CAMERA4

Camera	Bright	Contrast	Color	Tint
1	50	50	50	50
2	50	50	50	50
3	50	50	50	50
4	50	50	50	50

Camera	Covert	Address	PTZ Protocol
1	Off	0	NONE
2	Off	1	NONE
3	Off	2	NONE
4	Off	3	PELCO-D

Baud Rate 9600 bps

Buttons: 확인, 취소, 적용(A)

- ・状態/タイトル設定 - 各カメラの名前を設定します。
- ・カラー設定 - 各画面のカラーを設定します。
- ・転換/PTZ設定 - 各カメラの画面非表示機能及びPTZプロトコルを指定します。

Tip

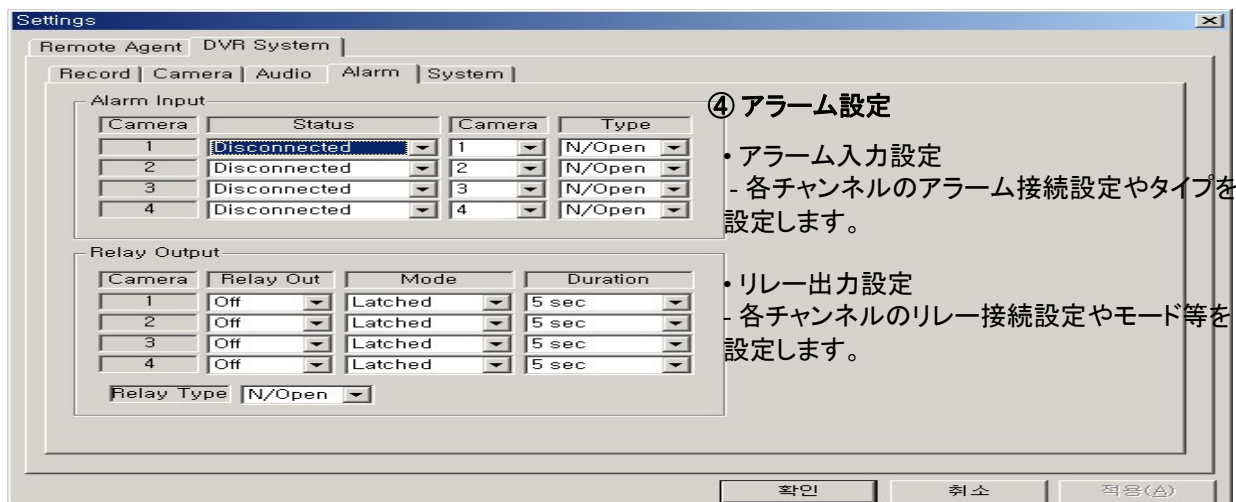
・各々の設定に対する詳しい機能説明及び方法はDVRシステムの設定方法を参照してください。

・リモートクライアント



③ オーディオ設定

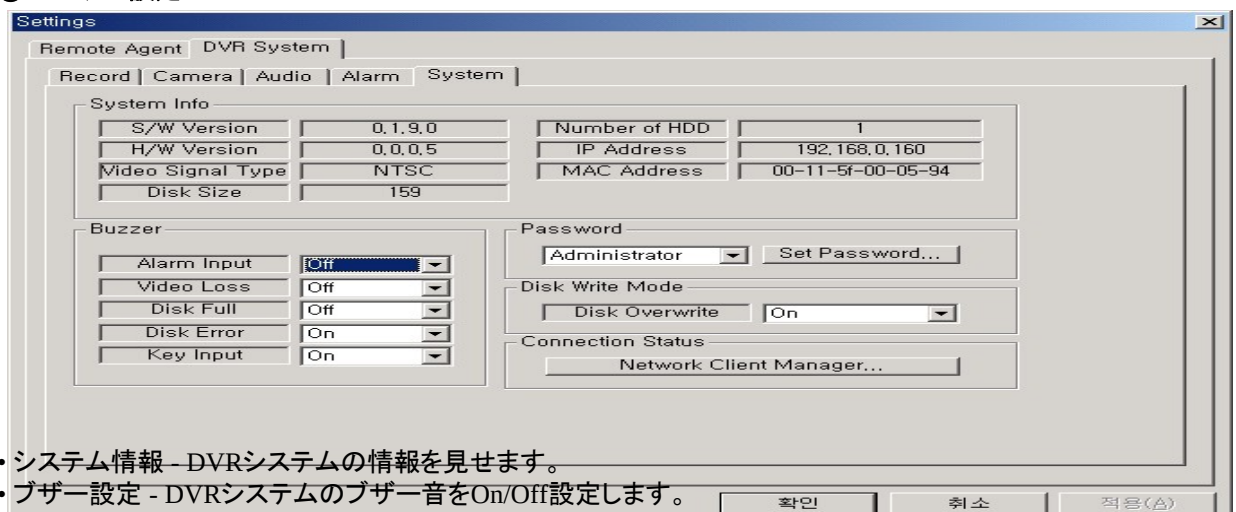
- ・オーディオ録音設定
- 各チャンネルの音声録音を設定します。
- ・ライブオーディオ設定
- DVRシステムのライブ音声及び両方向オーディオを設定します。



④ アラーム設定

- ・アラーム入力設定
- 各チャンネルのアラーム接続設定やタイプを設定します。
- ・リレー出力設定
- 各チャンネルのリレー接続設定やモード等を設定します。

⑤ システム設定

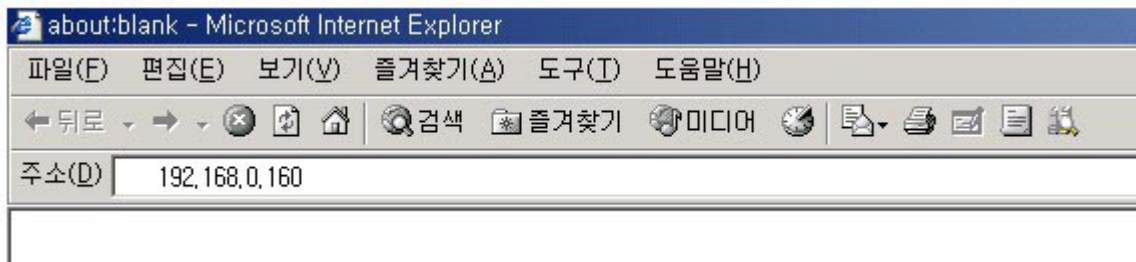


- ・システム情報 - DVRシステムの情報を見せます。
- ・ブザー設定 - DVRシステムのブザー音をOn/Off設定します。
- ・パスワード設定 - 管理者, マネージャー, オペレーターのパスワードを変更します。
- ・ハードディスク上書モード - DVRシステムのハードディスクの上書On/Offを設定します。
- ・接続状態 - 現在接続されている全てのリモートクライアントの接続状態を見せます。
- ・ネットワーク - ネットワーク速度を環境に合わせて設定します。

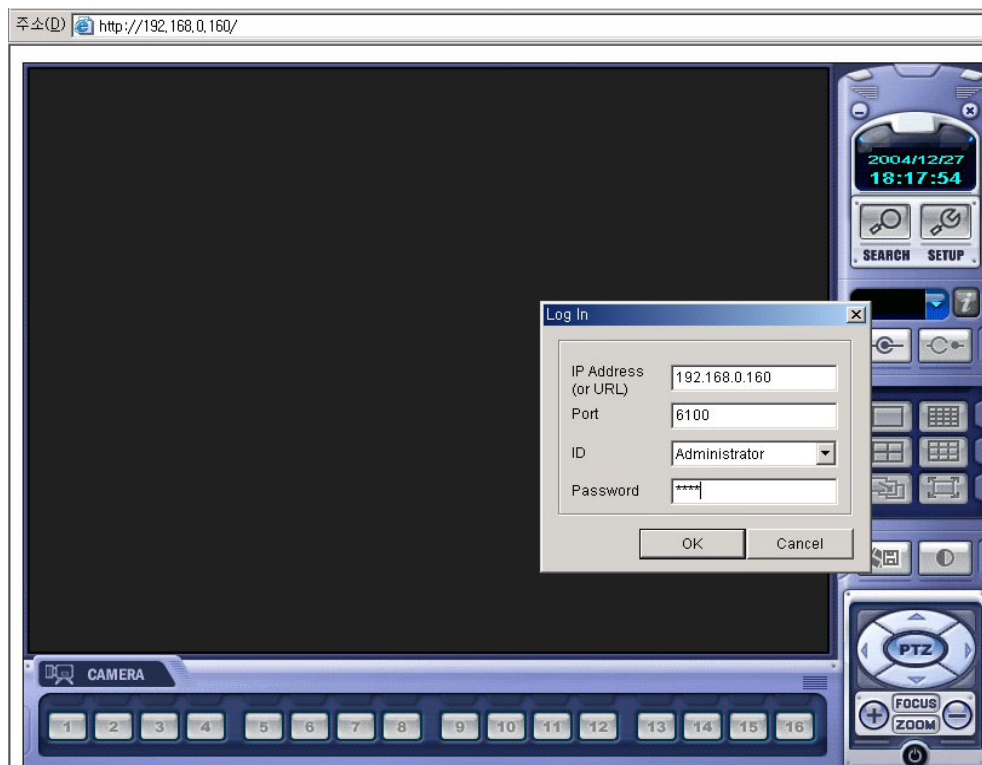
• ウェブクライアント

8. ウェブクライアント

• ウェブクライアント接続

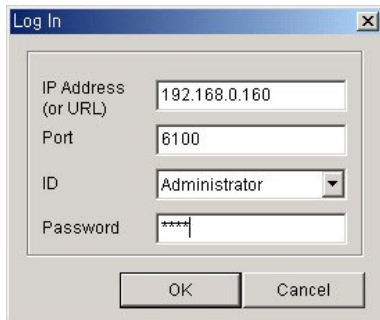


- ① 인터넷브라우저주소窓にDVRシステムのIPアドレス又はURLを入力した後接続をします。
- ② Active-Xコントロール設置窓が出れば、確認や設置を押します。



- ③ 인터넷브라우저画面にウェブクライアントが出ます。
- ④  接続ボタンをクリックすれば‘ログイン In’窓がポップアップされます。

•ウェブクライアント



⑤ IPアドレス(又はURL) : DVRシステムのIPアドレスやURLを入力します。

ポート : DVRシステムのポートを入力します。

(初期値:6100)

ID : 管理者, マネージャー, オペレーターのIDを選択します。

(ウェブクライアントで全てのIDの権限は同一です)

パスワード : パスワードを入力します。



⑥ 接続と同時に実時間ライブ映像がでて実時間モニタリング機能だけ遂行されます。